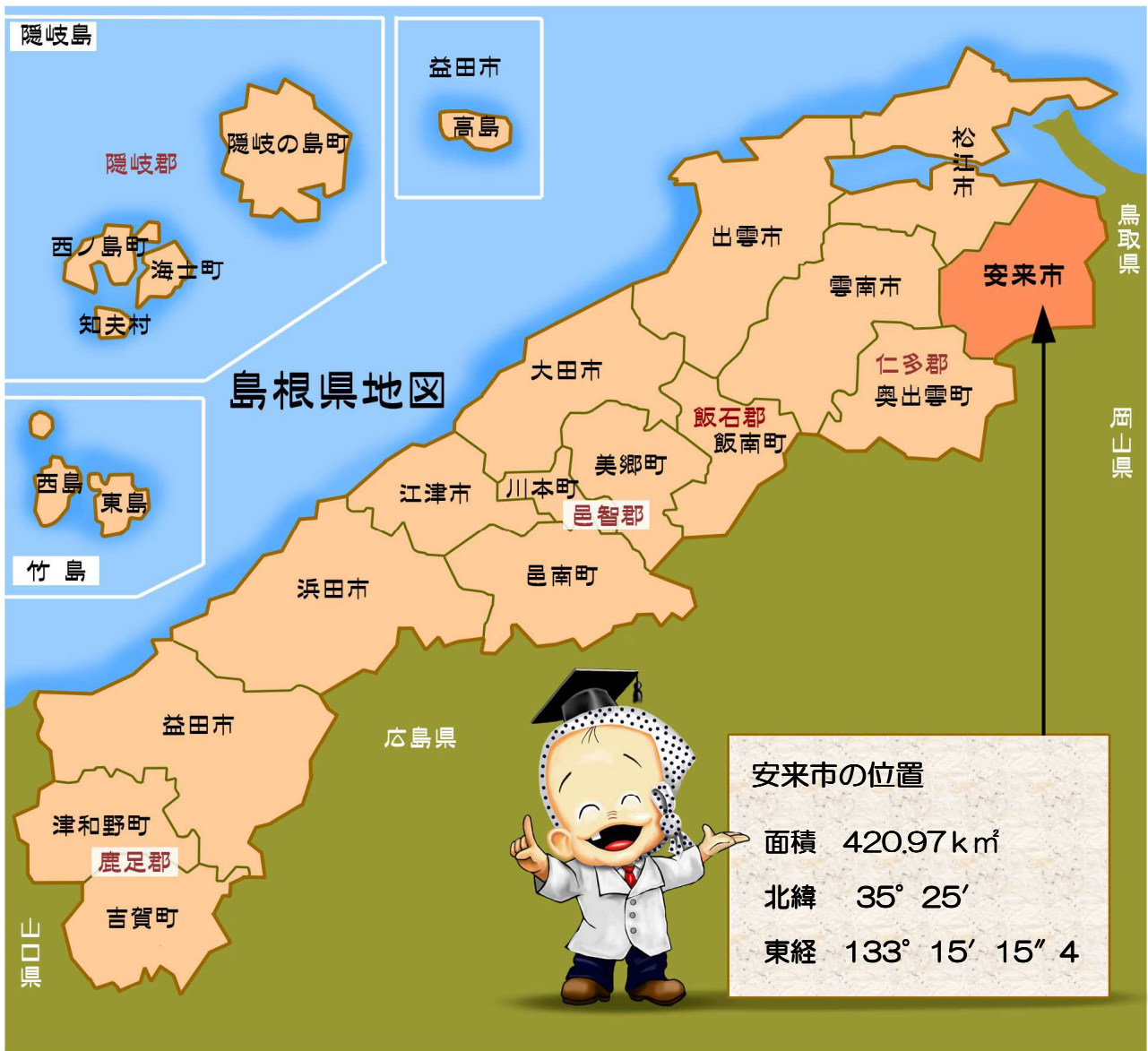


平成20年版（2008年）

統計 や す ぎ



島根県安来市

編集・発行：安来市役所総務部総務課

■はじめに

本書は、安来市の人口、産業、経済、教育、文化など各分野の基礎的な統計資料を収録又は編集し、市勢の現状と発展の推移を明らかにしようとするものです。

内容につきましては、整備充実に努めましたが、不備不完全な点があると思われまますので、各方面からのご意見ご指導を賜れば幸いに存じます。

発刊にあたり、貴重な資料をご提供くださいましたみなさまにお礼申し上げますとともに、今後とも一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成 21 年 3 月 安来市役所総務部総務課

■目次

◇市の紹介	1	◇上下水道	19
◇市勢	2	◇消防	20
◇土地・自然	4	◇警察	21
◇人口	6	◇産業	22
◇人口移動	7	◇財政・市税	24
◇地区別人口	8	◇選挙	26
◇福祉	10	◇防災	27
◇教育・文化	12	◇自治会・町内会	30
◇住宅	14	◇その他	31
◇公園	15	指定統計調査	
◇交通・観光	16	庁舎案内	
◇ごみ	18		

■ご利用にあたって

◇構成比、総数の合計は端数を四捨五入してあるため、必ずしも内訳計と一致しない場合があります。

◇統計表中の符号の用法は次のとおりです。

「―」・・・該当なし 「0」・・・単位未満 「△」・・・マイナス（－）※温度は除く
「×」・・・秘密保持上統計数値を公表しないもの

◇一般的でない用語を使用する場合やデータから読み取れる傾向等がはっきりしている場合は、脚注、解説を設けるようにしました。

市の紹介

元気・いきいき・快適都市
～水と緑と文化が調和する健康・交流のまち～

■元気・いきいき・快適都市

安来市は、中海圏域のほぼ中央に位置し、山・川・平野・海のすべてを持つ、自然環境に恵まれた地域です。数多くの神話や伝説の舞台として歴史的・文化的にも高い価値を持っているほか、古くから製鉄を営む地域としても全国的に知られています。

豊かな自然と文化をいしずえとして、笑顔と健康がはじけるように輝くまちを目指します。

■歴史

今からおよそ 1300 年前、当地域は出雲国の東部「意宇郡」に属していましたが、その後平安時代に「出雲国能義郡」として一つの行政区となりました。

戦国時代には広瀬の月山富田城を治める尼子氏が、陰陽 11 州（現中国地方全域）に勢力を及ぼすまでに台頭し、当地域は山陰の中心地として栄えました。また、江戸時代になると松江藩の支藩として広瀬・母里藩が置かれ、安来は山陰道の港町として和鉄や蔵米の集散地として発展しました。

廃藩置県により、明治 4 年 7 月に島根県として統合され、明治 22 年の市町村制の施行に伴い当地域は 16 町村となりました。戦後各町村が合併し、「安来市」・「広瀬町」・「伯太町」の 1 市 2 町となりました。

歴史・文化・生活などにおいて一体性を有し、広域行政組合などを通じて協力して地域づくりを行ってきた 1 市 2 町は、平成 16 年 10 月 1 日合併により新生「安来市」として新たなまちづくりを行うこととなりました。

■市のシンボル

市の花：さくら	市の木：竹	市の鳥：白鳥	市の魚：どじょう
			

■市章

「安」の文字をモチーフとして、人と自然がいきいきと共存共栄し、舞い踊るイメージをデザイン化しています。グリーンは自然・発展・調和、オレンジは陽光・人・活気、ブルーは清らかな水・青空を表現しています。



■市のキャラクター

安来節どじょうすくいキャラクターが、広く市民に愛され、コミュニケーションを活性化させると共に、市のイメージを内外に伝えることを目的とし作成されました。



■位置・地勢

安来市は島根県の東部、鳥取県との県境に位置し、東は米子市・南部町、南は日南町（以上鳥取県）、奥出雲町、西は東出雲町・松江市・雲南市に接しています。市域は東西およそ 22km、南北およそ 28km で、面積は 420.97 k m²です。南部は中国山地に連なる豊かな緑に覆われ、そこを源流として中海に注ぐ飯梨川・伯太川全流域が市域に含まれます。下流域に形成された三角州平野には広大な耕地が広がり、上流域には豊かな森林と県東部の水瓶としての機能も果たす布部・山佐ダムがあります。

■気候

気象は、平均気温が約 15℃前後、降水量は年間約 1,800 mmです。また、山沿いは平野部に比べ年間平均気温が低く、冬季の降雪量が多くなっています。

■交通

道路は、国道 9 号バイパス（自動車専用道路）である安来道路が東西に走り、山陰自動車道の一部として機能しています。その他、南北に走る国道 432 号、主要地方道（安来木次線、伯太日南線）など幹線道路網でネットワークされています。

空路は、安来市から直線距離で西へ約 30 km の地点に出雲空港、北におよそ 20 km の地点に米子空港があり、東京や大阪などへも良好なアクセスが確保されています。

鉄道は、JR 山陰本線が東西に走り、安来駅・荒島駅を有しています。安来駅から県庁所在地である松江市までは特急で約 13 分、隣接の米子市（鳥取県）までは約 7 分の連絡となっています。

■福祉・医療

安来市は、地域医療の中核となる市立病院をはじめ、子ども未来課・いきいき健康課・高齢者安心課を設置し、安心して子どもを産み育てることのできる地域社会、また高齢者や障害者をはじめ、誰もが生き生きと暮らせる社会の実現に向け、総合的な福祉施策を積極的に推進しております。

■教育・文化

安来市では、市内すべての小中学校で「安来市の豊かな自然、歴史、文化を学校教育に取り入れ、地域に育ち、郷土への誇りと地域コミュニティの担い手として市民意識をもった子どもを育てる」ことをねらいとした「ふるさと教育」を推進しています。

■観光

全国的に有名な「民謡安来節」の発祥の地です。また、約 1400 年前に開かれた清水寺、1 万坪の日本庭園を持ち近代日本画の名品を多数展示している足立美術館、たたら製鉄などの鉄文化を伝える和鋼博物館など、文化の香り高いすぐれた観光資源を有しています。

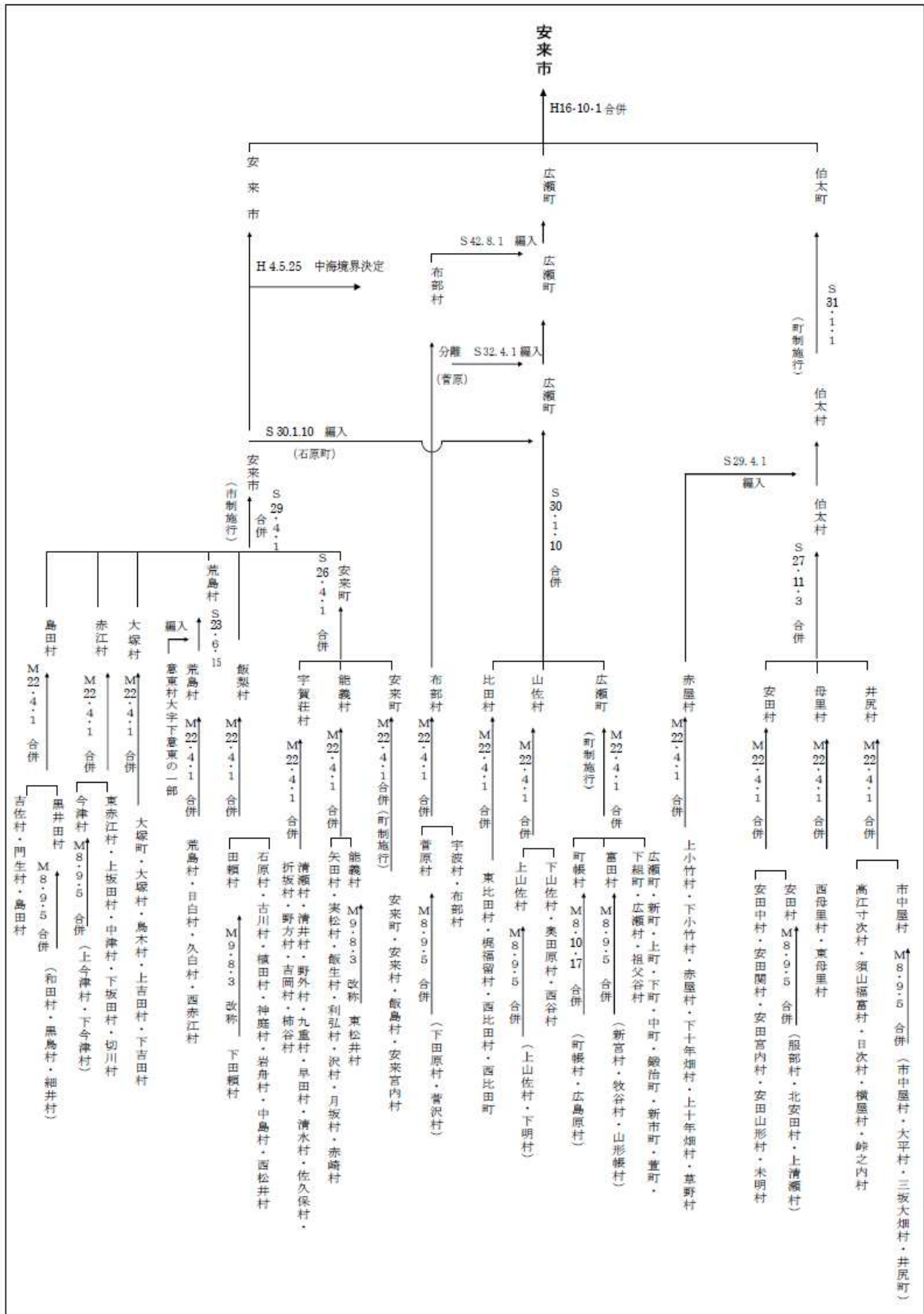
■環境

安来市は、ごみの減量化・再資源化を目的に 16 分別を実施し、Reduce（リデュース：むだを減らす）、Reuse（リユース：再利用）、Recycle（リサイクル：再資源化する）の 3R によって、資源循環型社会の構築を目指した取り組みを積極的に推進しています。

■産業・経済

豊かな自然を活用した農業は、米を柱に野菜や果物（梨・ぶどう・いちご・メロンなど）を生産し、県内農業の中心的役割を果たしています。また、古くから鉄の集積地として歴史がある安来市は、鉄鋼産業に取り組む企業が集積しています。中でも、高級特殊鋼「ヤスキハガネ」は、航空機から精密機器などの素材として高い評価を得ており、世界で最先端の技術力を誇ります。

■安来市の変遷



土地・自然

安来市は、山林が最も多く、次に田・畑と続き、推移からも地目割合に大きな変化は見られない。

■地目別面積（民有地）の推移

(単位:ha, %)

区分	平成 17 年 (2005 年)		平成 18 年 (2006 年)		平成 19 年 (2007 年)		平成 20 年 (2008 年)	
	面積	地目割合	面積	地目割合	面積	地目割合	面積	地目割合
総数	19,154	100.0	19,110	100.0	19,012	100.0	18,995	100.0
田	4,257	22.2	4,232	22.1	4,217	22.2	4,206	22.1
畑	976	5.1	968	5.1	966	5.1	965	5.1
宅地	831	4.3	833	4.4	837	4.4	840	4.4
池沼	42	0.2	38	0.2	38	0.2	38	0.2
山林	12,345	64.5	12,300	64.4	12,252	64.4	12,240	64.4
原野	503	2.6	516	2.7	521	2.7	525	2.8
雑種地	200	1.0	203	1.1	181	1.0	181	1.0

資料: 税務課 各年 1 月 1 日現在

■都市計画の地域区分面積

(単位:ha, %)

区分	面積	構成比
総面積(行政区域面積)	42,097	100.0
都市計画区域	総数	8,781
	市街化区域	659
	市街化調整区域	6,702
	用途の定めのない区域	1,420
その他	33,316	79.1

資料: 都市政策課 平成 20 年 3 月 31 日現在

注) その他の区域の面積は、都市計画区域外 31,160ha及び中海の行政水面 2,157haを含む総面積は国土地理院の数値で、四捨五入の関係で合わない。

◇市街化区域の内訳

(単位:ha, %)

地域名	面積	構成比
合計	659	100.0
住居系	第一種低層住居専用地域	42
	第二種低層住居専用地域	0
	第一種中高層住居専用地域	84
	第二種中高層住居専用地域	0
	第一種住居地域	205
	第二種住居地域	35
	準住居地域	7
商業系	近隣商業地域	19
	商業地域	24
工業系	準工業地域	99
	工業地域	10
	工業専用地域	134

資料: 都市整備課 平成 20 年 3 月 31 日現在

■一級河川

(単位:km)

名称	上流端	下流端	河川延長
伯太川	伯太町草野	中海	25.0
飯梨川	広瀬町比田	中海	35.9
山佐川	広瀬町奥田原	飯梨川	15.5
吉田川	上吉田町	中海	12.5

資料: 島根県統計書

■湖

(単位:km, km², m)

名称	湖岸線延長	満水面積	水深	
			最深	平均
中海	104.6	86.79	8.4	5.4

資料: 島根県統計書

注) 所在地は、松江市・安来市・八束郡・米子市・境港市

■ダム

(単位:m, 千m³)

名称	目的	提高	有効貯水容量
布部ダム	洪水調整・上水道・工業用水・発電	55.9	5,000
山佐ダム	洪水調整・上水道	56.0	4,450

資料: 島根県統計書

■農地転用状況

(単位:件, a)

区分		平成 18 年度	平成 19 年度				
			総数	安来		広瀬	伯太
				市街化区域	市街化調整区域		
総数	件数	54	51	17	24	7	3
	面積	520.0	485.0	123.0	274.0	66.0	22.0
住宅用地	件数	26	19	11	7	1	0
	面積	87.0	114.0	92.0	20.0	2.0	0.0
商工業用地	件数	11	4	1	3	0	0
	面積	174.0	50.0	15.0	35.0	0.0	0.0
その他の用地	件数	17	28	5	14	6	3
	面積	259.0	321.0	16.0	219.0	64.0	22.0

資料:農業委員会

■気象の概要

(単位:℃, mm, %, m/S, 日)

区分		平成 19 年 (2007 年)	平成 20 年 (2008 年)
気温	最高(極)	39.0	37.0
	最低(極)	-3.0	-0.5
	平均	15.89	16.48
降水量		1,048.5	1491.0
平均湿度		75.2	78.4
最大風速		27.5	24.0
平均風速		1.9	2.3
天気日数	快晴	31	11
	晴	133	131
	曇	155	157
	雨	44	59
	雪	2	7

資料:消防総務課

■主要山岳

(単位:m)

名称	標高	名称	標高
猿隠山	816.9	メイゲ平山	229.1
三郡山	806.0	三笠山	218.1
鷹入山	706.1	車山	207.8
天狗山	610.4	月山	183.8
日向山	526.3	岳山	181.6
京羅木山	473.0	佐幸寺山	178.0
大辻山	365.0	兄弟山	176.7
羽根ヶ谷山	360.9	清水山	107.4
独松山	320.6	十神山	92.9
要害山	281.2	城山	87.8
鷲頭山	258.5	高塚山	48.7

資料:安来市管内図

◇気象の概要の内訳

(平成 20 年/単位:℃, mm, %, m/S, 日)

区分		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
気温	最高(極)	16.5	16.0	20.5	29.0	31.0	32.0	36.0	37.0	32.5	29.5	24.5	21.0
	最低(極)	0	-0.5	1.0	6.0	8.0	12.0	18.0	18.0	10.0	11.0	2.5	0.5
	平均	6.1	4.8	10.1	15.2	20.0	21.4	28.0	26.8	24.2	19.4	13.0	8.9
降水量		110.0	135.0	122.0	133.0	104.0	255.0	63.0	219.0	107.0	44.0	99.0	100.0
平均湿度		78.9	80.1	75.9	73.3	73.5	81.3	79.7	83.2	79.1	79.1	77.5	78.6
最大風速		18.0	22.0	19.3	17.0	19.0	14.0	15.0	15.0	13.0	13.0	19.5	24.0
平均風速		2.25	2.39	2.51	2.39	2.53	2.58	1.86	2.37	1.93	1.81	2.09	2.29
天気日数	快晴	0	0	4	3	0	1	0	1	1	1	0	0
	晴	4	3	8	12	14	10	18	10	14	17	11	10
	曇	20	18	16	9	12	13	11	14	10	10	10	14
	雨	6	2	3	6	5	6	2	6	5	3	9	6
	雪	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

資料:消防総務課

注)快晴:曇量1以下、晴:曇量2以上8以下、曇:曇量1

人口

安来市の人口は、自然動態・社会動態共に、減少傾向にある。

■人口・世帯

(単位:世帯,人,%)

区分		平成 18 年 (2006 年)	平成 19 年 (2007 年)	平成 20 年 (2008 年)
世帯数		13,849	13,867	13,931
人口	総数	44,603	44,174	43,743
	男	21,344	21,092	20,854
	女	23,259	23,082	22,889
年少者	人口数 (14 歳以下)	5,881	5,791	5,686
	率	13.18	13.10	12.99
高齢者	人口数 (65 歳以上)	12,426	12,587	12,662
	率	27.85	28.49	28.94

資料:市民生活課 各年 3 月 31 日現在

■年齢・構成

(平成 19 年/単位:人)

区分	男	女
総数	43,096	22,654
0～4 歳	1,766	853
5～9 歳	1,921	940
10～14 歳	2,071	1,042
15～19 歳	2,039	1,006
20～24 歳	1,546	832
25～29 歳	2,168	1,029
30～34 歳	2,519	1,230
35～39 歳	2,322	1,123
40～44 歳	2,107	1,061
45～49 歳	2,409	1,164
50～54 歳	2,746	1,370
55～59 歳	3,750	1,861
60～64 歳	3,053	1,517
65～69 歳	2,799	1,462
70～74 歳	3,027	1,694
75～79 歳	2,615	1,512
80～84 歳	2,168	1,378
85～89 歳	1,254	934
90～94 歳	609	470
95～99 歳	177	147
100 歳以上	29	29
年齢不詳	1	0
0～14 歳	5,758	2,835
15～64 歳	24,659	12,193
65 歳以上	12,678	7,626

資料:島根の人口移動と推計人口 第 17 表市町村年齢階級別人口

注)国勢調査では、住民票の有無にかかわらず人口を把握するので、当該調査後に住民票を移動させると、人口が「差引不能」となる場合がある。

■人口動態

(平成 19 年/単位:人,%)

区分			島根県	安来市
平成 19 年 10 月 1 日現在推計人口			731,652	43,096
平成 18 年 10 月 1 日現在推計人口			736,882	43,504
自然動態	出生	総数	5,854	342
		男	3,023	167
		女	2,831	175
	死亡	総数	8,527	516
		男	4,458	278
		女	4,069	238
	自然増加数	総数	△2,673	△174
		男	△1,435	△111
		女	△1,238	△63
		率	△0.36	△0.40
社会動態	県外転入	総数	14,675	602
		男	7,648	288
		女	7,027	314
	県内転入	総数	10,225	379
		男	5,378	188
		女	4,847	191
	県外転出	総数	17,232	732
		男	8,713	378
	県内転出	女	8,519	354
		総数	10,225	483
	社会増加数	男	5,378	240
		女	4,847	243
		総数	△2,557	△234
		男	△1,065	△142
人口増減	女	△1,492	△92	
	率	△0.35	△0.54	
	総数	△5,230	△408	
	男	△2,500	△253	
	女	△2,730	△155	
	率	△0.71	△0.94	

資料:島根の人口移動と推計人口 第 3 表市町村別人口動態

注)県外転入には、市町村が職権により住民票に「記載」した人の数、県外転出には住民票から「削除」した人の数が含まれている。

自然増加数=出生児数-死亡者数

自然増加率=1年間の自然増加数/前年 10 月 1 日現在人口×100

社会増加数=転入者数-転出者数

社会増加率=1年間の社会増加数/前年 10 月 1 日現在人口×100

人口移動

大都市圏への人口流出と近隣地域への人口移動が顕著に表れている。

■移動理由別移動者数

(平成 19 年/単位:人)

区分		県外転入	県内転入	県外転出	県内転出	
移動者総数	2,192	598	379	732	483	
原因者	総数	1,675	475	269	586	345
	転勤	202	50	50	55	47
	就職	213	45	14	124	30
	転職転業	111	47	13	36	15
	就学卒業	102	13	6	60	23
	結婚縁組	246	52	51	61	82
	新築転居	188	44	32	58	54
	その他	594	222	102	186	84
不詳	19	2	1	6	10	
同伴者	517	123	110	146	138	

資料: 島根の人口移動と推計人口 第7表市町村移動理由別移動者数

注) 県外転入には、市町村が職権により住民票に「記載」した人の数、県外転出には住民票から「削除」した人の数が含まれていない。

移動の理由は何？

移動者総数で最も多い理由は「結婚縁組」



県外転入で最も多い理由は「結婚縁組」
県外転出で最も多い理由は「就職」

県内転入で最も多い理由は「結婚縁組」
県内転出で最も多い理由は「結婚縁組」

■都道府県間移動者数（県外転入）

(平成 19 年/単位:人)

都道府県名	転入者数	都道府県	転入者数
北海道	1	滋賀県	6
青森県	1	奈良県	4
岩手県	0	和歌山県	2
宮城県	0	京都府	10
秋田県	4	大阪府	37
山形県	0	兵庫県	33
福島県	6	鳥取県	243
茨城県	6	岡山県	28
栃木県	10	広島県	28
群馬県	1	山口県	8
埼玉県	10	徳島県	0
千葉県	17	香川県	9
東京都	21	愛媛県	0
神奈川県	18	高知県	2
新潟県	1	福岡県	15
富山県	0	佐賀県	0
石川県	3	長崎県	3
福井県	1	熊本県	1
山梨県	1	大分県	1
長野県	0	宮崎県	0
岐阜県	0	鹿児島県	0
静岡県	2	沖縄県	4
愛知県	11	国外	44
三重県	5	不詳	1
合計			598

資料: 島根の人口移動と推計人口 第8表市町村別都道府県間移動者数
注) 県外転入には、市町村が職権により住民票に「記載」した人の数が含まれていない。

■都道府県間移動者数（県外転出）

(平成 19 年/単位:人)

都道府県名	転出者数	都道府県	転出者数
北海道	3	滋賀県	6
青森県	1	奈良県	7
岩手県	0	和歌山県	0
宮城県	7	京都府	15
秋田県	2	大阪府	62
山形県	0	兵庫県	28
福島県	1	鳥取県	288
茨城県	3	岡山県	35
栃木県	2	広島県	44
群馬県	0	山口県	10
埼玉県	14	徳島県	1
千葉県	13	香川県	8
東京都	28	愛媛県	2
神奈川県	27	高知県	2
新潟県	0	福岡県	22
富山県	0	佐賀県	1
石川県	7	長崎県	2
福井県	0	熊本県	0
山梨県	0	大分県	1
長野県	1	宮崎県	2
岐阜県	3	鹿児島県	4
静岡県	4	沖縄県	6
愛知県	14	国外	46
三重県	10	不詳	0
合計			732

資料: 島根の人口移動と推計人口 第9表市町村別都道府県間移動者数
注) 県外転出には、市町村が職権により住民票から「削除」した人の数が含まれていない。

地区別人口

商業施設の集積や集合住宅を抱える島田地区の人口が、年々増加している。

■地区別世帯数と人口

地区名	世帯数	住民基本台帳			外国人		
		総数	男	女	総数	男	女
総数	13,931	43,743	20,854	22,889	148	28	120
安来地区	4,236	11,392	5,460	5,932	36		
赤江地区	1,270	4,234	2,060	2,174	15		
荒島地区	1,285	4,107	1,955	2,152	8		
飯梨地区	536	1,717	812	905	×		
能義地区	430	1,699	810	889	4		
大塚地区	503	1,694	791	903	2		
宇賀荘地区	527	2,028	974	1,054	4		
島田地区	940	2,988	1,424	1,564	17		
広瀬地区	1,550	4,893	2,298	2,595	41		
比田地区	435	1,407	659	748	×		
山佐地区	236	824	398	429	×		
布部地区	430	1,431	671	760	5		
安田地区	476	1,646	803	843	6		
母里地区	459	1,672	790	882	5		
井尻地区	316	1,083	505	578	×		
赤屋地区	302	925	444	481	2		

資料：市民生活課 平成 20 年 3 月 31 日現在

(単位：人) 人口増加の要因は？

島田地区に着目!!

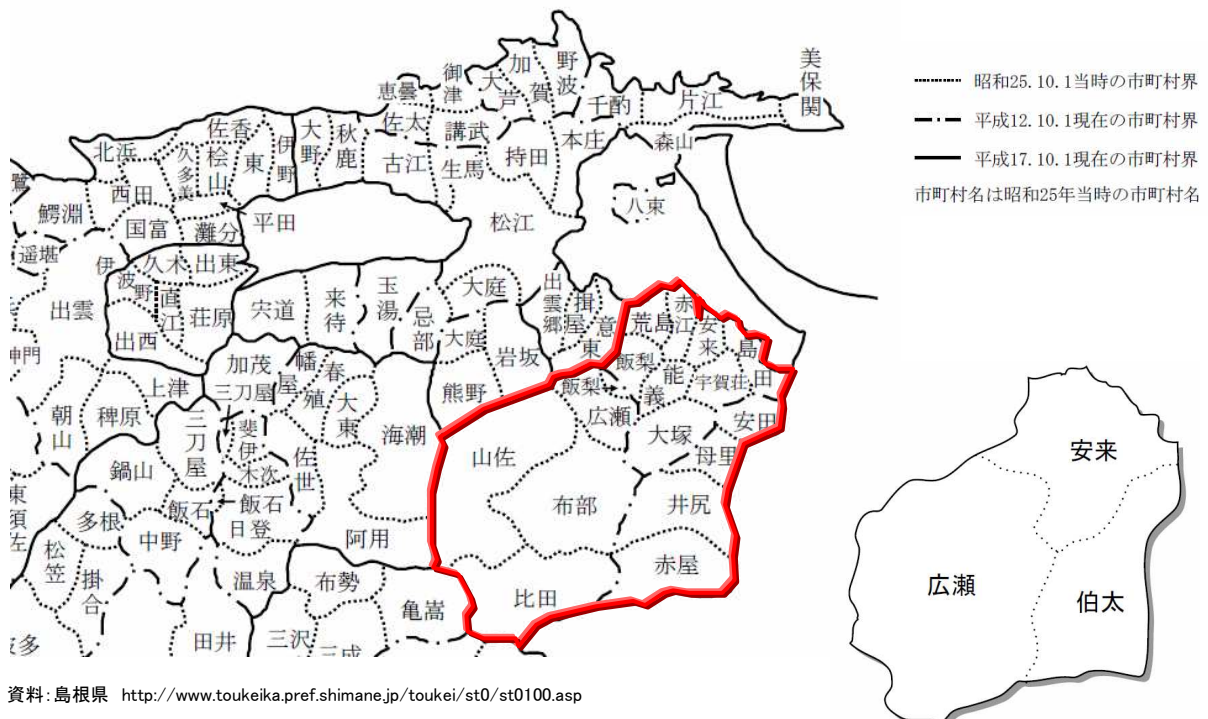
島田地区は県境付近に位置するため、安来、米子の両市から押寄せられる工業化や市街化の流れにより地域の形態が変化しつつあります。また、住宅団地の戸数拡充などに伴う交通も整備され、地域活性化が期待される地域です。

(単位：人、%)

区分		人数
平成 17 年	総数	2,867
	男	1,372
	女	1,495
平成 12 年人口総数		2,661
平成 7 年人口総数		2,694
平成 12～17 年の増加(5 年間)	増加数	206
	増加率	7.7
平成 7～17 年の増加(10 年間)	増加数	173
	増加率	6.4

資料：国勢調査

■島根県旧市町村環境図



資料：島根県 <http://www.toukeika.pref.shimane.jp/toukei/st0/st0100.asp>

■町丁・字等別人口

(単位:人, 歳)

町丁字名	総数	再掲			平均年齢	町丁字名	総数	再掲			平均年齢
		15歳未満	15~64歳	65歳以上				15歳未満	15~64歳	65歳以上	
総数	43,839	5,926	25,539	12,374	47.4	日白町	117	19	71	27	46.0
飯島町	2,046	392	1,304	350	40.0	赤江町	1,218	196	707	315	45.8
安来町	6,326	842	3,556	1,928	48.5	東赤江町	583	67	380	136	46.8
亀島町	-	-	-	-	-	下坂田町	456	66	286	104	45.9
宮内町	799	96	518	185	46.9	今津町	445	62	291	92	44.6
南十神町	98	17	59	22	42.3	上坂田町	146	17	88	41	46.9
黒井田町	2,463	424	1,546	493	42.4	切川町	1,246	199	772	275	44.2
新十神町	508	63	314	131	47.0	中津町	374	43	241	90	46.0
恵乃島町	-	-	-	-	-	穂日島町	-	-	-	-	-
島田町	568	57	334	177	50.4	中海	-	-	-	-	-
門生町	231	35	129	67	46.5	汐手が丘	339	104	215	20	31.3
中海町	-	-	-	-	-	広瀬町石原	306	57	182	67	42.5
吉佐町	383	39	235	109	48.1	広瀬町町帳	728	131	480	117	40.4
佐久保町	292	35	188	69	47.6	広瀬町富田	286	31	161	94	49.6
九重町	122	13	76	33	49.5	広瀬町広瀬	2,599	309	1,418	872	49.5
早田町	96	14	63	19	43.1	広瀬町祖父谷	176	23	84	69	52.4
清水町	173	38	89	46	43.1	広瀬町下山佐	579	63	289	227	53.4
宇賀荘町	448	56	263	129	46.7	広瀬町菅原	328	38	188	102	49.8
清井町	204	26	127	51	46.8	広瀬町西比田	640	71	314	255	54.1
清瀬町	132	15	85	32	45.0	広瀬町梶福留	307	25	160	122	54.1
吉岡町	125	16	63	46	51.4	広瀬町東比田	455	29	233	193	55.2
野方町	164	21	93	50	48.7	広瀬町西谷	249	31	131	87	51.0
折坂町	167	22	108	37	45.2	広瀬町奥田原	271	31	138	102	51.8
柿谷町	122	9	72	41	53.0	広瀬町上山佐	562	69	301	192	50.4
鳥木町	112	13	64	35	46.7	広瀬町布部	867	103	439	325	50.9
大塚町	991	95	582	314	50.8	広瀬町宇波	337	30	172	135	53.5
下吉田町	221	29	122	70	48.7	伯太町安田山形	87	7	42	38	56.9
上吉田町	354	63	183	108	47.5	伯太町安田関	149	13	90	46	50.4
能義町	87	9	54	24	48.6	伯太町安田宮内	170	34	107	29	40.8
実松町	148	23	81	44	49.0	伯太町未明	112	20	62	30	44.0
赤崎町	266	27	153	86	49.1	伯太町安田中	160	27	89	44	46.3
月坂町	638	80	404	154	45.5	伯太町安田	954	149	547	258	45.9
沢町	268	39	151	78	47.7	伯太町東母里	675	87	421	167	44.7
利弘町	253	34	155	64	47.7	伯太町母里	597	69	345	183	49.2
飯生町	302	46	184	72	45.4	伯太町西母里	359	53	227	79	44.7
矢田町	117	10	58	49	54.5	伯太町井尻	383	37	217	129	50.9
田頼町	316	37	191	88	47.7	伯太町高江寸次	106	15	51	40	50.0
西松井町	166	29	95	42	44.8	伯太町須山福富	119	8	51	60	58.0
飯梨町	405	26	258	121	50.6	伯太町日次	134	28	70	36	45.4
岩舟町	105	12	56	37	49.8	伯太町横屋	161	15	80	66	53.0
神庭町	107	9	62	36	51.2	伯太町峠之内	177	12	105	60	52.9
植田町	396	52	228	116	47.7	伯太町赤屋	143	24	82	37	44.7
古川町	268	21	102	145	61.3	伯太町下小竹	207	24	94	89	54.3
西荒島町	124	14	67	43	51.4	伯太町上小竹	198	14	103	81	53.9
荒島町	2,366	314	1,407	645	47.5	伯太町下十年畑	139	16	77	46	52.1
西赤江町	1,090	157	689	244	46.2	伯太町上十年畑	162	13	95	54	52.5
久白町	403	76	248	79	41.6	伯太町草野	63	2	27	34	62.6

資料: 国勢調査 平成 17 年 10 月 1 日現在

福祉

平成 19 年の高齢化率は、全国で最も高い島根県 (28.2%) で、安来市はそれを上回る数値である。

■高齢者福祉

(平成 20 年/単位: 人, %)

区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総人口		43,903	43,884	43,743	43,712	43,675	43,638	43,613	43,600	43,573	43,544	43,507	43,503
高齢者 (65歳以上)	人口	12,641	12,654	12,662	12,673	12,678	12,665	12,681	12,671	12,683	12,690	12,699	12,704
	率	28.79	28.83	28.94	28.99	29.02	29.02	29.07	29.06	29.10	29.14	29.18	29.20

資料: 市民生活課

注) 人口集計は、その月の最終開庁日で記載している。(月末が休日又は祝日の場合は、前日で記載している。)

■社会福祉施設

(単位: 施設, 人)

区分	平成 18 年 (2006 年)			平成 19 年 (2007 年)			平成 20 年 (2008 年)		
	施設数	定員	入所者数	施設数	定員	入所者数	施設数	定員	入所者数
児童館	2	90	34	2	90	22	1	30	9
保育所(園)	19	1,260	1,144	19	1,320	1,169	19	1,320	1,245

資料: 子ども未来課 各年 4 月 1 日現在

(単位: 施設, 人)

区分			平成 18 年 (2006 年)	平成 19 年 (2007 年)	平成 20 年 (2008 年)
養護老人ホーム	市内	施設数	1	1	1
		定員	50	50	50
		入所者数	38	39	41
	市外の施設への入所者数		13	15	16
特別養護老人ホーム	市内	施設数	4	4	4
		定員	270	270	270
		入所者数	270	270	270
	市外の施設への入所者数		0	0	0

資料: 福祉課 各年 4 月 1 日現在

■障害者福祉

◇手帳所有者数の推移

(単位: 人)

区分	平成 17 年 (2005 年)	平成 18 年 (2006 年)	平成 19 年 (2007 年)
身体障害者手帳	2,418	2,462	2,555
知的障害者療育手帳	290	329	333
精神障害者保健福祉手帳	169	215	204

資料: 安来市障害者基本計画(福祉課) 各年 4 月 1 日現在

◇特別支援教育の状況

(単位: 学級, 人)

区分		平成 18 年 (2006 年)	平成 19 年 (2007 年)
小学校	学級数	23	22
	児童数	42	42
中学校	学級数	11	9
	児童数	28	26

資料: 学校基本調査 各年 5 月 1 日現在

◇障害児保育の状況

(単位: か所, 人)

区分	平成 18 年度	平成 19 年度
実施か所数	8	11
実利用児童数	11	20

資料: 安来市障害者基本計画(子ども未来課)

◇企業における障害者雇用の状況

(平成 19 年/単位: 人, 社, %)

常用労働者数	障害者数	実雇用率	法定雇用率 適用企業数	未達成企業 の割合
4,645	66	1.4	26	50.0

資料: 安来市障害者基本計画(松江公共職業安定所安来出張所) 平成 19 年 6 月 1 日現在

介護保険

区分	平成 18 年 (2006 年)	平成 19 年 (2007 年)	平成 20 年 (2008 年)
第 1 号被保険者数	12,437	12,599	12,678
要支援・要介護認定者数	2,387	2,369	2,439
認定率	19.1	18.8	19.2

資料：高齢者安心課 各年 3 月 31 日現在

■国民健康保険

(単位：世帯、人、円)

区分		平成 19 年 (2007 年)	平成 20 年 (2008 年)
被保険者数	世帯	7,985	8,060
	人員	15,774	15,701
保険税	1 世帯当たり	148,729	147,889
	1 人当たり	75,289	75,918
医療の給付	保険給付費	2,646,138,804	2,908,323,421
	1 世帯当たり	331,389	360,834
	1 人当たり	167,753	185,232

資料：市民生活課 国保年報 各年 3 月 31 日現在

■国民年金

(単位：人)

区分	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
被保険者数	7,715	7,664	7,342
第 1 号	強制	5,192	5,086
	任意	33	25
第 3 号	2,490	2,553	2,440
福祉年金受給権者	37	31	20

資料：市民生活課 各年 3 月 31 日現在

第 1 号(強制)：自営業・自由業・学生・フリーアルバイト・年金の適用を受けていない事業所に勤務している人などで 20 歳以上 60 歳未満の人

第 1 号(任意)：60 歳以上 65 歳未満の人、海外に居住している人など

第 3 号：厚生年金・共済年金に加入している配偶者に扶養されている人

■生活保護

(単位：人、%, 千円)

区分		平成 17 年度		平成 18 年度		平成 19 年度	
被保険者数		1,975		186		2,412	
保護率(人口千人)対		3.68		4.22		4.63	
保護費総額		280,983		256,633		314,550	
内訳		人員	金額	人員	金額	人員	金額
扶助	生活	1,588	69,648	1,803	74,780	2,063	82,378
	住宅	919	11,519	1,209	14,959	1,414	17,572
	教育	51	379	118	915	188	1,316
	医療	1,646	167,437	1,633	137,812	1,849	182,601
	出産・生業・葬祭	37	656	26	190	27	251
	介護	235	13,575	244	12,492	337	10,807
保護施設事務費		86	17,769	94	15,485	121	19,626

資料：福祉課

(単位：人、%) 1人当たりの医療費は？

医療費(一般+退職+老人)の都道府県順位



(平成 19 年度/単位：円)

順位	都道府県名	1 人当たりの 医療費	指数
	全国平均	403,379	100.0
1	高知県	515,926	127.9
2	山口県	515,300	127.7
3	広島県	514,708	127.6
4	鹿児島県	504,434	125.1
5	北海道	500,951	124.2
6	大分県	499,055	123.7
7	香川県	490,721	121.7
8	福岡県	490,691	121.6
9	長崎県	489,601	121.4
10	島根県	488,207	121.0

資料：国民健康保険中央会

注)医療費は、一般、退職、老人を合算して計算しています。

指数：全国平均=100 としたとき

医療費(老人)の都道府県順位

(平成 19 年度/単位：円)

順位	都道府県名	1 人当たりの 医療費	指数
	全国平均	869,163	100.0
1	福岡県	1,075,811	123.8
2	高知県	1,037,818	119.4
3	北海道	1,035,316	119.1
4	沖縄県	1,004,614	115.6
5	広島県	1,004,462	115.6
27	島根県	824,894	94.9

資料：国民健康保険中央会

教育・文化

小中高の本務教員1人当たりの児童数は、全国平均を上回り、より良い教育環境が整えられている。

■学校の現況（幼稚園・小・中学校）

(単位:校,学級,人)

区分		幼稚園	小学校	中学校
学校数	総数	6	17	5
	公立	6	17	5
	私立	0	0	0
学級数		21	142	46
生徒数	総数	242	2,340	1,207
	男	118	1,203	570
	女	124	1,137	637
教員数		24	230	95
1教員当たりの生徒数		10.0	10.1	12.7

資料:学校教育課 平成20年5月1日現在

■年齢別園児数（幼稚園）

(単位:人)

区分		3歳児	4歳児	5歳児
幼稚園	総数	242	62	80
	男	118	27	40
	女	124	35	40

資料:学校教育課 平成20年5月1日現在

■学年別児童・生徒数（小・中学校）

(単位:人)

区分		1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年
小学校	総数	2,340	384	397	352	394	432
	男	1,203	208	189	176	205	238
	女	1,137	176	208	176	189	194
中学校	総数	1,207	405	414	388		
	男	570	191	196	183		
	女	637	214	218	205		

資料:学校教育課 平成20年5月1日現在

■学校の現況（高校）

(単位:校,人)

区分		高校
学校数		2
生徒数	総数	800
	男	387
	女	413
教員数		78
1教員当たりの生徒数		10.3

資料:学校基本調査結果報告書 平成20年5月1日現在

■学年別生徒数

(単位:人)

区分		1学年	2学年	3学年
高校	総数	800	294	262
	男	387	144	123
	女	413	150	139

資料:学校基本調査結果報告書 平成20年5月1日現在

島根県が1位？

学校教育の充実

小学校本務教員1人当たりの児童数

島根県 1位 11.41人
全国平均 17.05人



(平成19年)

順位	都道府県名	人
1	島根県	11.41
2	高知県	11.54
3	鹿児島県	12.67
4	鳥取県	12.84
5	徳島県	13.11
6	岩手県	13.44
7	秋田県	13.75
8	青森県	14.07
9	大分県	14.14
10	山形県	14.29
11	和歌山県	14.43
12	北海道	14.44
13	愛媛県	14.52
14	熊本県	14.82
15	長崎県	14.84
16	福島県	15.02
17	山口県	15.04
18	新潟県	15.07
19	福井県	15.09
20	三重県	15.18

資料:統計指標でみる島根のすがた
平成19年5月1日現在

中学校本務教員1人当たりの児童数

島根県 2位 11.01人
全国平均 14.48人

高等学校本務教員1人当たりの児童数

島根県 2位 11.29人
全国平均 13.96人

■文化財の種別

(単位:件)

種別	総数	指定別			地区別		
		国	県	市	安来	広瀬	伯太
建造物	10	2	5	3	7	2	1
絵画	3	1	0	2	3	0	0
彫刻	20	6	5	9	9	5	6
工芸品	17	2	6	9	14	1	2
書跡・典籍・古文書	6	3	0	3	5	1	0
考古資料	8	0	1	7	7	0	1
工芸技術	1	0	1	0	0	1	0
有形民俗	4	2	1	1	2	2	0
無形民俗	6	0	0	6	3	2	1
史跡	14	5	3	6	12	2	0
名勝	2	0	0	2	2	0	0
天然記念物	2	0	1	1	0	0	2
重要伝統的建造物	0	0	0	0	0	0	0
登録有形文化財	20	20	0	0	4	0	16

資料:文化課 平成20年3月31日現在

一般的な文化財は？

雲樹寺(清井町)

[指定]国重文・建造物(四脚門)
絵画・銅鐘・書、他に県・市指定多数



安来駅から伯太町へ向かうこと約5km、松並木の長い参道を抜け、四脚門をくぐると二層入り母屋造りの山門がそびえ、その奥に仏殿をはじめとするお堂が並んでいます。禅僧独自の建物が整い、地方の禅寺としては大規模で、四脚門は国重文、山門は市指定で銅鐘などすぐれた文化財を多く所有しています。

安来一里塚(安来町)

[指定]国・史跡



国道9号線から旧道沿いに入った、十神小学校南の細い道沿いにあります。旧山陰道沿いに設けられた江戸時代の一里塚で、道の両側にそれぞれ1か所、南塚と北塚が残っています。以前は、松の大木が生えていましたが、現在は枯れてなくなりました。

広瀬 紺(広瀬町富田)

[指定]県・工芸技術



大柄の絵模様様が特徴の広瀬紺の起源は、広瀬城下の町医者の妻が1824年、米子で技術を学んで帰郷し、婦女子に伝えたと言われています。現在は、広瀬紺センターの中に伝習所があり、多くの愛好者が機織りに魅せられています。

陰陽竹(伯太町横屋)

[指定]県・天然記念物



比婆山山頂付近に、径が2~3cmの真竹に似た幹に、笹のような大きい葉(幅6cm長さ25cm)をつける竹林が分布しています。男竹に女性的な笹がついているために「陰陽竹」という名がつけられ、全国的にも例を見ない珍しい竹です。

資料:島根県 いにしへの島根第8巻
<http://www.pref.shimane.jp/new/inishie/>

■文化施設利用状況

(単位:人)

区分	平成17年度	平成18年度	平成19年度
安来市立図書館(新旧合算)	159,587	42,242	48,508
広瀬図書室(ふれあいセンター)	8,025	3,753	2,963
はくた文化学習館(図書館・視聴覚室)	35,530	12,018	11,373
安来市立歴史資料館	2,498	-	3,047

資料:文化課

■交流センター・運動施設利用状況

(単位:件,人)

区分		平成17年度		平成18年度		平成19年度		
		件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	
交流センター	安来市中央交流センター	2,944	53,664	-	53,025	2,788	54,726	
	広瀬中央交流センター	1,195	28,605	-	4,561	-	-	
	伯太中央交流センター	805	21,401	-	11,940	655	14,580	
運動施設	安来南体育館	54	2,835	54	3,035	51	571	
	安来西部球場	34	2,225	46	2,990	41	1,397	
		広瀬中央公園	603	17,684	479	17,093	1,213	20,002
		体育館以外の施設合算	752	9,241	672	10,675	863	11,584
	伯太運動広場(各施設合算)	102	4,808	30	5,030	120	6,891	
伯太体育館	388	9,023	102	8,899	296	8,584		

資料:市民企画課

住宅

安来市は、持ち家率が82.4%で、住宅規模は1世帯当たりの延べ面積が約50坪である。

■住宅の種類・住宅の所有の関係別一般世帯数等

(単位:世帯, 人, m²)

住居の種類(住宅の所有の関係)	世帯数	世帯人員	1世帯当りの		1人当りの延べ面積	
			人員	延べ面積		
合計	12,679	42,596	3.36	147.0	43.8	
住宅に住む一般世帯	小計	12,605	42,446	3.37	147.6	43.8
	主世帯					
	持ち家	10,451	37,380	3.58	165.7	46.3
	公営・都市機構・公社借家	768	1,965	2.56	60.7	23.7
	民営借家	1,091	2,333	2.14	57.3	26.8
	給与住宅	295	768	2.60	65.0	24.9
間借り	74	150	2.03	46.0	22.7	
住宅以外に住む一般世帯	174	192	1.10	-	-	
一般世帯の総数	12,853	42,788	3.33	-	-	

資料:国勢調査 平成17年10月1日現在

■公営住宅

名称	所在地	建設年度	戸数
臼井団地	切川町	平成16年度	18
内代団地	切川町	平成12・13年度	40
柳団地	荒島町	平成10年度	30
糺団地	安来町	平成5年度	30
和田団地	黒井田町	昭和58・59・62・平成元・2・3年度	60
わらび谷団地	黒井田町	昭和56・57年度	37
町帳住宅	広瀬町町帳	昭和54年	12
殿町住宅	広瀬町広瀬	昭和58年	8
布部住宅	広瀬町布部	昭和57年	4
石堂前団地	伯太町安田中	昭和56年度	4
安田団地	伯太町安田	平成14・15・16年度	35
御崎団地	伯太町東母里	昭和57・58・59・60・61年度	30
招団地	伯太町西母里	昭和53・54・55年度	30



ただすだんち
糺団地
(写真上:外観・下:内部の様子)
糺市営住宅は、それぞれのライフスタイルに微妙な違いのある高齢者、障害者、青壮年層などの家族が複合的に生活するように計画された住宅団地です。



城山団地
住戸には専用庭をとり、一戸建感覚を意識しています。



ハイツ MISAKI
若者定住向け賃貸住宅として、優良な設備(水洗トイレ、オール電化など)を完備しているのが特徴です。

■特定公共賃貸住宅

名称	所在地	建設年度	戸数
安田団地	伯太町安田	平成14・16年度	15
城山団地	伯太町赤屋	平成10・16年度	8
汐彩団地	汐手が丘	平成18・19年度	11

■公社賃貸住宅

名称	所在地	建設年度	戸数
汐彩ハイツ	汐手が丘	平成16年度	16
石原住宅	広瀬町石原	平成15年度	24
栄町ハイツ	広瀬町町帳	平成5・6・7・8年度	46
ハイツMISAKI	伯太町東母里	平成5年度	8

資料:建築住宅課

公園

平成 18 年度現在、島根県都市公園人口 1 人当たりの面積は、17.5 m²/人で全国第 5 位である。

■安来市都市公園（6 箇所）

（平成 18 年度/単位:ha, 人）

名称	位置	面積合計	人口 1 人当たりの面積 (m ² /人)	都市計画区域内人口
安来公園	安来町 1365 番地	25.35	7.64	33,194
安来運動公園	吉岡町 450 番地			
広瀬中央公園	広瀬町広瀬 307 番地			
うさぎ山児童公園	西荒島町 121 番地 2			
みさき親水公園	亀島町 9 番地 10			
汐彩公園	汐手が丘 238 番地			

資料: 島根県 島根の公園現況一覧表



安来公園

丘の上の公園一帯に、約 500 本のソメイヨシノが開花します。夜には、ぼんぼりがとまり、開花期間中は「桜まつり」が開催され、『安来節』を広めた渡部お糸にちなんだイベントも等も行われます。
<http://ekitan.com/sp/hanami/x-49808.html>

■安来市児童遊園（13 箇所）

名称	位置
東飯梨児童遊園	飯梨町761番地2
あたご児童遊園	安来町1984番地14
とかみ児童遊園	安来町(港湾施設)
東十神児童遊園	新十神町3番地
糺児童遊園	安来町1293番地
大塚児童遊園	大塚町351番地1
東旭町児童遊園	荒島町1728番地
和田児童遊園	黒井田町1894番地
内代児童遊園	切川町1304番地
日白児童遊園	日白町133番地1
新十神児童遊園	新十神町70番地
猪子塚児童遊園	荒島町3326番地17
島田児童遊園	島田町43番地1



広瀬中央公園

総合体育館をはじめ、陸上競技場・野球場・テニスコート等の設備が整っているため、各種大会にも利用されています。



古代出雲王陵の丘造山公園

敷地内にある造山公園では、大型方墳や前方後方墳等が見学できます。古墳の上に立つと中海や島根半島が一望でき、国引き神話の世界に引き込まれます。

<http://島根県教育庁文化財課>

■安来市史跡公園（5 箇所）

名称	位置
古代出雲王陵の丘造山公園	荒島町 1965 番地
古代出雲王陵の丘仲仙寺公園	西赤江町 825 番地 5
古代出雲王陵の丘宮山公園	西赤江町 853 番地 5
古代出雲王陵の丘塩津山公園	久白町 879 番地 2
史跡富田城跡公園	広瀬町富田 2188 番地 4



なかうみ農村公園

子供たちに自然の大切さを知ってもらおうと、風力発電システムのほか、果樹観察園、学習農園等を配置し、環境学習に貢献しています。特に高さ 74m、羽根の長さ 24m の発電用風車は、中国地方最大規模を誇り、公園のシンボルとして見る者の目を驚かせています。

<http://www.city.yasugi.shimane.jp/p/2/11/3/2/>

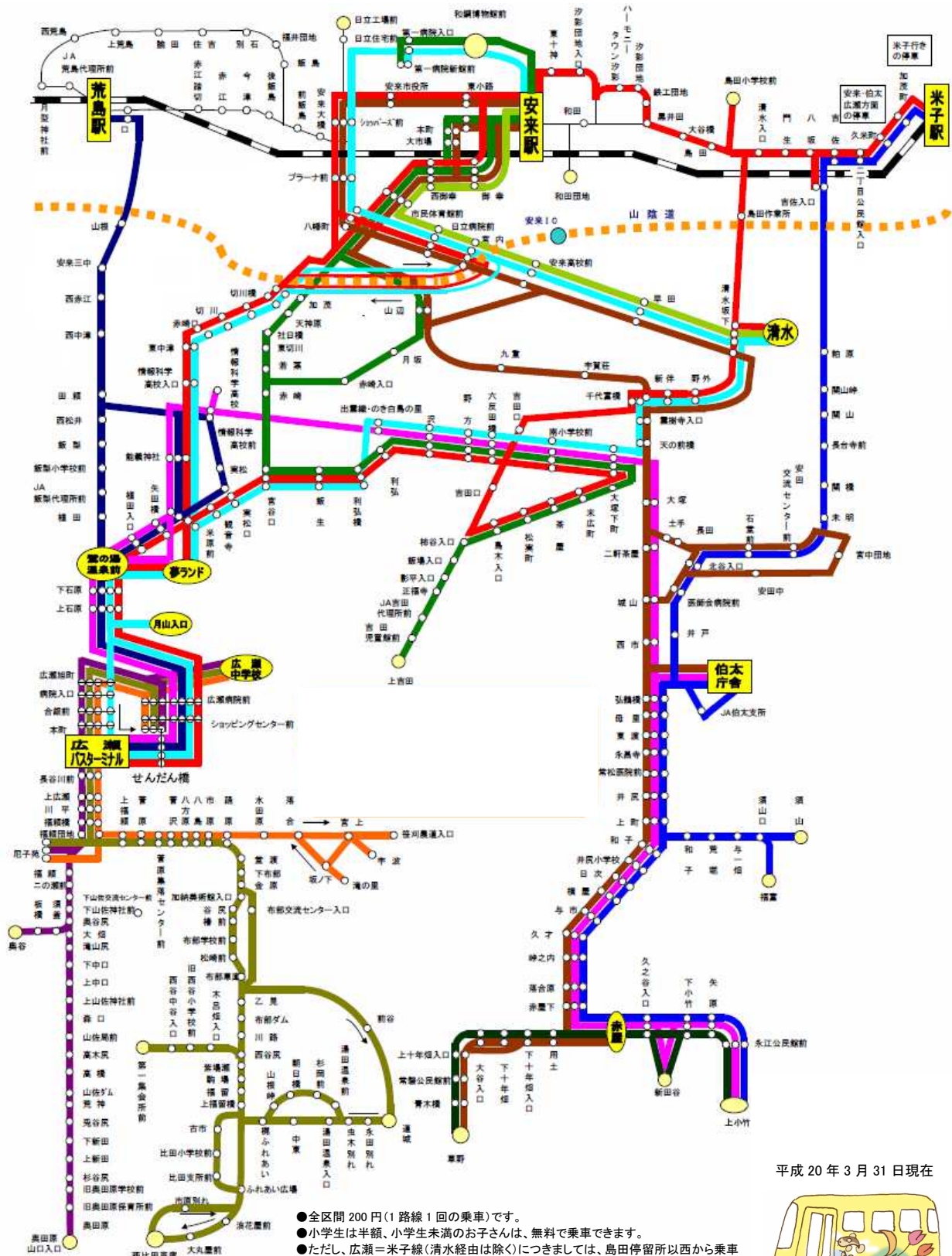
■安来市農林公園（2 箇所）

名称	位置
なかうみ農村公園	東赤江町 1638 番地 1
出雲織・のき白鳥の里	沢町 317 番地 1

交通・観光

観光客入込数は140万人程度で推移し、対前年度比は100.58%で増加している。

■安来市広域生活バス路線図



平成 20 年 3 月 31 日現在

- 全区間 200 円(1 路線 1 回の乗車)です。
- 小学生は半額、小学生未満のお子さんは、無料で乗車できます。
- ただし、広瀬=米子線(清水経由は除く)につきましては、島田停留所以西から乗車し、米子市内で降車された場合、また、米子市内から乗車し島田停留所以西で降車された場合は、150 円(半額対象の方は、80 円)の加算となります。また年始休業として、1 月 1 日~1 月 3 日までは全路線運休日といたします。



■安来市広域生活バス利用状況

(単位:人)

路線名	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	前年度比(増減)
総数	402,393	397,202	431,997	34,795
観光ループ(外回り・内回り)	18,975	19,664	20,540	876
買い物バス	8,594	8,633	8,991	358
スクールバス	41,543	45,624	48,886	3,262
安来・吉田線	33,245	32,079	30,648	△1,431
安来・清水線	1,457	1,337	1,401	64
安来・海岸線	1,396	1,251	1,356	105
広瀬・米子線	90,770	93,590	94,101	511
広瀬・荒島線	39,307	39,902	42,647	2,745
広瀬・宇波線	16,642	15,815	14,429	△1,386
広瀬・奥田原線	25,318	25,470	35,746	10,276
広瀬・西比田線	34,644	34,785	59,162	24,377
伯太(上小竹)・広瀬線	14,945	13,061	13,001	△60
伯太(草野)・安来線	41,150	34,458	33,474	△984
伯太(福富)・米子線	22,715	20,708	17,399	△3,309
上小竹・草野線	11,692	10,825	10,216	△609

資料:市民参画課

■道路状況

(単位:m, 台)

■観光客入込数

(単位:人)

区分	平成 18 年 (2006 年)	平成 19 年 (2007 年)	平成 20 年 (2008 年)
総数	1,471,522	1,421,337	1,429,655

資料:商工観光課

道路		自動車保有台数
実延長	舗装率	
1,170,366	79.4	33,818

資料:島根県

道路は平成 19 年 4 月 1 日現在

自動車保有台数は平成 19 年 3 月 31 日現在

(注)自動車保有台数には軽二輪を含まない。

■観光地別入込客数

(平成 20 年/単位:人)

	施設名	人数
安来	足立美術館	507,306
	和鋼博物館	12,061
	清水寺	307,700
	鷺の湯温泉	177,709
	夢ランドしらさぎ	140,136
	安来節屋	8,105
	安来節演芸館	88,228
広瀬	広瀬緋センター	24,155
	歴史民俗資料館	3,866
	月山の湯憩いの家	39,068
	富田山荘	48,266
	山佐ダム	2,096
	比田温泉健康増進施設	42,607
伯太	金屋子神話民俗館	1,047
	チューリップ祭	20,000
	上の台緑の村	7,305

資料:商工観光課

■主な観光地



安来駅



清水寺



足立美術館



安来節演芸館



和鋼博物館



夢ランドしらさぎ



広瀬緋センター



月山富田城跡



鷹入の滝

ごみ

平成 19 年度の資源ごみのリサイクル率は 27%で、
ごみの排出量は、対前年度比-3.8%であった。

■家庭ごみ年間排出量の推移

(単位:t, %)

区分		平成 18 年度	平成 19 年度
総処理量 ①		12,538	11,669
資源ごみ ②	総数	3,301	3,136
	その他の紙類	285	305
	缶類(飲料用)	70	66
	金属類	239	204
	ビン類(飲料用)	294	275
	ペットボトル	59	58
	プラスチック類	537	535
	新聞・チラシ	750	750
	書籍・雑誌・冊子	513	477
	ダンボール	194	188
	牛乳パック	1	8
	衣類	44	40
	蛍光管・体温計	6	12
	板ガラス	5	3
	粗大ごみ	304	215
燃やすごみ	総数	8,901	8,330
	うち中間処理施設で 処理済の可燃ごみ	82	11
埋立ごみ(最終処分)		336	203
リサイクル率 ②/①		26.3	26.8

資料:環境衛生課

■ごみ焼却とし尿処理の状況

(単位:t)

区分		平成 18 年度	平成 19 年度	
			市施設	処理委託施設
ごみ 焼却	総数	8,666	238	8,328
	焼却量 (1日平均)	33.85	13.98	32.03
し尿	総数	14,656	13,990	-
	処理量 (1日平均)	40.15	38.22	-

資料:環境衛生課

■安来市のごみ処理量

(平成 18 年度/単位:人, t)

総人口	44,437
計画収集人口	44,437
自家処理人口	0

ごみ総排出量	合計	12,545	
	収集ごみ	小計	11,270
		混合ごみ	0
		可燃ごみ	8,105
		不燃ごみ	229
		資源ごみ	2,871
		その他	6
		粗大ごみ	59
	直接搬入ごみ	1,275	
	集団回収量	0	

合計	12,545
生活系ごみ搬入量	10,607
事業系ごみ搬入量	1,938
集団回収量	0

資料:環境省 一般廃棄物処理事業実態調査
注)総人口は平成 18 年 4 月 1 日現在

(平成 18 年度/単位:人, kℓ)

総人口	44,437		
非水洗化	総数	7,939	
	計画収集人口	7,028	
	自家処理人口	911	
水洗化	総数	36,498	
	下水道人口	18,086	
	※コミュニティ・プラント人口	0	
	浄化槽人口	総数	18,412
		うち合併 処理浄化 槽人口	13,777

資料:島根県 総人口は平成 18 年 4 月 1 日現在
※コミュニティ・プラントとは、下水道区域外の集落や団地
などに設置された地域し尿処理施設のことです。



高尾クリーンセンター
粗大ごみ処理施設



清瀬クリーンセンター
焼却場



広瀬一般廃棄物最終処分場
不燃物処理施設
埋立終了年度:2021



伯太一般廃棄物最終処分場
不燃物処理施設
埋立終了年度:2011

上下水道

公共下水道の普及率は、平成19年度末現在で、42.5%にとどまっている。(島根県:全国44位)

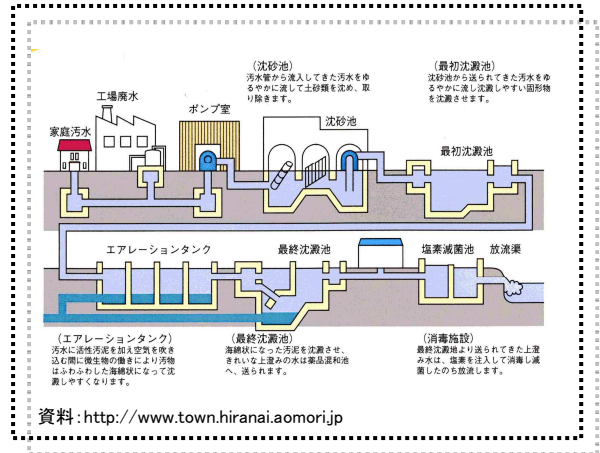
■上水道の給水状況

(単位:戸,人,m³,%)

区分	平成18年度	平成19年度		
		総数	上水道	簡易水道
給水戸数	13,959	13,890	11,015	2,875
給水人口	43,695	43,254	33,752	9,502
年間	配水量	5,386,247	4,432,600	930,378
	有収水量	4,729,253	3,907,000	809,182
有収率	87.1	87.9	88.1	87.0
1日平均	14,757	12,921	10,704	2,217
1人1日平均	0.31	0.30	0.32	0.23

資料:水道管理課

汚水がきれいになるまでには?



■公共下水道の設備状況 (累計)

(単位:ha,戸,人,%)

区分	平成18年度	平成19年度			
		総数	安来	広瀬	伯太
処理面積	455.05	466.64	350.53	116.11	0.0
処理戸数	6,218	6,463	5,288	1,175	0
水洗化人口	14,586	15,138	12,290	2,848	0
公共下水道の普及率	40.9	42.5	34.0	8.5	0.0
安来市下水道の普及率	72.9	75.0	-	-	-

資料:下水道課

■水道普及率

(単位:%)

区分	平成18年度
安来市の水道普及率	98.3

資料:島根県 平成19年3月31日現在

■下水道管渠延長の推移 (累計)

(単位:km)

区分	平成18年度	平成19年度
総数	119.6	123.4
安来	83.3	86.7
広瀬	36.3	36.7
伯太	0.0	0.0

資料:下水道課

※管渠とは、各家庭の水洗便所や台所などから排出される汚水を終末処理場に運んだり(汚水管)、道路や屋根に降った雨を川や湖に排除するため(雨水管)の施設です。私有地内の配管は個人が設置します。

■農業集落排水事業の設備状況 (累計)

(単位:ha,戸,人,%)

区分	平成18年度	平成19年度			
		総数	安来	広瀬	伯太
処理面積	739.00	739.00	-	-	-
処理戸数	2,451	2,307	1,007	250	1,050
水洗化人口	6,416	6,533	2,564	571	3,398
農業集落排水事業の普及率	19.1	19.1	8.6	1.9	8.4

資料:下水道課

■農業集落排水施設の推移 (累計)

(単位:km)

区分	平成18年度	平成19年度
総数	132.7	132.7
安来	57.8	57.8
広瀬	25.1	25.1
伯太	49.8	49.8

資料:下水道課



母里地区農業集落排水施設周辺では、毎年、チューリップ祭りが開催されています。

■農業集落排水施設

施設名	
安来	宇賀荘地区農業集落排水施設
	大塚地区農業集落排水施設
	能義地区農業集落排水施設
	吉田地区農業集落排水施設
広瀬	西比田地区農業集落排水施設
伯太	母里地区農業集落排水施設
	井尻地区農業集落排水施設
	安田地区農業集落排水施設
	赤屋地区農業集落排水施設
	古市地区農業集落排水施設
	横屋地区農業集落排水施設

消防

平成 19 年の救急件数は 1,486 件で、半数が、急病 (52%) によるものである。

■火災発生状況

(単位:件数, 人, 世帯)

区分		平成 17 年 (2005 年)	平成 18 年 (2006 年)	平成 19 年 (2007 年)
件数		25	17	19
火災種別	建物	14	10	2
	林野	3	3	4
	車両	0	1	2
	その他	8	3	11
損害程度	死者	1	0	0
	負傷者	6	1	0
	罹災世帯	21	6	1
	罹災人員	50	20	2
主な原因	放火(疑い含む)	-	-	8
	焼却炉	-	-	2
	たき火	-	-	2
	排気管(車両マフラー)	-	-	2
	落雷	-	-	1
	その他	-	-	3
	不明	-	-	1
地域別	安来地区	13	11	6
	広瀬地区	7	3	7
	伯太地区	5	3	6

資料: 安来市消防本部 消防年報

■消防団員数

(単位:人)

区分	本部	安来	広瀬	伯太	
総数	781	2	383	246	150

資料: 安来市消防本部 消防年報 平成 20 年 4 月 1 日現在

■救急件数

(単位:件数, 人)

区分		平成 17 年 (2005 年)	平成 18 年 (2006 年)	平成 19 年 (2007 年)
件数		1,443	1,410	1,486
内訳	火災	3	4	0
	自然災害	0	2	0
	水難事故	4	3	3
	交通事故	158	149	159
	労働災害	14	15	10
	運動競技	14	10	23
	一般負傷	226	194	231
	加害	4	7	3
	自損行為	13	21	27
	急病	765	786	777
	その他	242	219	253
総搬送人員		1,407	1,351	1,447

資料: 安来市消防本部 消防年報



安来市消防署

島根県安来市安来町 917-28



救急車

救急車の最大の目的は、緊急の差し迫った傷病者を病院などの医療施設まで迅速かつ安全に搬送することです。



消防車

消防車は、火災やその他の災害に際して、鎮圧や防御を行なう際に使用される特殊な装備を持つ自動車です。



救助工作車

救助工作車は、あらゆる救助事案に対応できる救助資機材を積載し、救助活動を行う車です。



化学消防車

化学消防車は、水による消火が不可能・困難な石油コンビナートや航空事故等の重大な危険物火災に対応する車です。



はしご車

はしご車は、高所の消火及び救助に使用される車です。

平成 19 年の安来市内の昼夜別交通事故発生状況は、昼間 139 人・夜間 33 人であった。

■月別交通事故発生状況

(平成 19 年/単位:人)

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
件数	172	15	14	19	14	13	15	19	18	5	14	15	11
死者	4	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
傷者	201	21	15	21	15	20	15	22	22	6	15	17	12

資料:交通事故統計だより <http://www2.pref.shimane.jp/police/>

■事故類型別発生状況

(平成 19 年/単位:人)

区分	平成 18 年 (2006 年)	平成 19 年 (2007 年)
件数	162	172
人対車輛	10	14
車輛相互	正面	12
	追突	75
	出会い頭	37
	追越時	2
	右折時	3
	左折時	0
	その他	14
車輛独断	9	8
列車	0	0

資料:交通事故統計だより

■状態別死傷者数

(平成 19 年/単位:人)

区分	四輪車		二輪車		自転車	歩行者	その他
	運転	同乗	運転	同乗			
こども	0	7	0	0	5	3	0
高校生	0	1	1	0	1	1	0
20 歳未満	5	0	1	0	0	0	0
20~24 歳	11	1	0	0	0	2	0
25~29 歳	12	1	1	1	0	0	0
30 歳代	35	3	3	0	1	0	0
40 歳代	22	5	2	0	2	0	0
50 歳代	18	5	3	0	1	2	0
60~64 歳	5	2	0	0	2	0	0
高齢者	17	4	7	0	5	7	0

資料:交通事故統計だより

■第一当事者の違反別発生状況

(平成 19 年/単位:人)

区分	平成 18 年 (2006 年)	平成 19 年 (2007 年)
件数	162	172
前方不注意	35	46
安全不確認	27	36
動静不注視	44	45
操作不適	11	9
交差点安全	0	1
速度の出過ぎ	8	6
信号無視	5	5
追越方法	0	1
右左折違反	2	0
一時不停止	15	7
その他	14	14
歩行者の違反	0	0
不明	1	2

資料:交通事故統計だより

死亡事故多発地点の解消（国道 9 号線）

事故多発地点（荒島町）



正面衝突



直線道路のように見える

島根県安来市荒島町の国道9号では、平成 15・16 年に、正面衝突によりドライバーが死亡するという痛ましい事故が連続して発生しました。
現場は緩いカーブになっていますが、直線道路と錯覚する危険性があるため、地域住民から早急な対策が望まれていました。

対策内容



視線誘導標の増設



白い建物を隠すための植樹

国土交通省中国地方整備局松江国道事務所は、地域住民と一体となって検討したことで、地元の理解や協力を得やすく、短期間で対策を実施し、死亡事故ゼロに取り組まれました。（平成 16 年）

平成 19 年中、国道 9 号線での事故は 71 件でした。

資料:国土交通省 <http://www.cgr.mlit.go.jp/>

産業

安来市は、製造業にかなり特化した産業構造を有している。

■事業所

(単位:人, %)

区分	総数	人口		割合		
		男	女	男	女	
総数	23,109	12,794	10,301	55.4	44.6	
第一次産業	総数	3,231	1,662	1,569	51.4	48.6
	農業	3,195	1,629	1,566	51.0	49.0
	林業	27	26	1	96.3	3.7
	漁業	9	7	2	77.8	22.2
第二次産業	総数	7,774	5,672	2,088	73.0	26.9
	鉱業	20	15	5	75.0	25.0
	建設業	2,132	1,812	320	85.0	15.0
第三次産業	製造業	5,622	3,859	1,763	68.6	31.4
	総数	12,047	5,426	6,621	45.0	55.0
	電気・ガス・熱供給・水道業	64	56	8	87.5	12.5
	情報通信業	166	113	53	68.1	31.9
	運輸業	840	703	137	83.7	16.3
	卸売・小売業	3,427	1,548	1,879	45.2	54.8
	金融・保険業	319	124	195	38.9	61.1
	不動産業	43	22	21	51.2	48.8
	飲食店・宿泊業	750	236	514	31.5	68.5
	医療・福祉	2,353	396	1,957	16.8	83.2
	教育・学習支援業	746	273	473	36.6	63.4
	複合サービス事業	451	298	153	66.1	33.9
	サービス業 (他に分類されないもの)	2,111	1,112	999	52.7	47.3
公務 (他に分類されないもの)	720	511	209	71.0	29.0	
分類不能	57	34	23	59.6	40.4	

資料:国勢調査 平成17年10月1日現在

■林業

(単位:ha, m², 戸)

林野面積	合計	30,071	森林蓄積	人工林	32,753 百	
	国有林	483		天然林	21,397 百	
	民有林	小計	29,588	林業経営体数	総数	420
		緑資源公団	5,081		うち家族経営	371
		公有林	2,626	組織形態別林業経営体	法人化している経営体	14
		私有林	21,881		農事組合法人	-
	現況森林面積	29,867	会社		2	
森林以外の草生地	204	各種団体	4			
森林計画による森林面積	合計	29,869	その他法人		8	
	国有	483	地方公共団体・財産区		1	
	民有	29,386	法人化していない経営体	405		
森林蓄積	合計	54,150 百	私有林面積	在村者	19,249	
	針葉樹	38,619 百		不在村者	2,428	
	広葉樹	15,531 百	参考:林家数	1,992		

資料:2005年農林業センサス 平成17年2月1日現在

■農業

(単位:人, 戸, ha, %)

農家数	3,598		
自給の農家	613		
販売農家	2,985		
主副業分類	主業農家	318	
	準主業農家	1,034	
	副業的農家	1,633	
専兼業分類	専業農家	354	
	第1種兼業農家	318	
	第2種兼業農家	2,313	
経営耕地規模別農家数 (販売農家)	0.5ha未満	491	
	0.5~1.0ha	1,165	
	1.0~2.0ha	1,068	
	2.0~3.0ha	176	
	3.0ha以上	85	
農家人口	総数	15,933	
	男	7,706	
	女	8,227	
基幹的農業従事者数	総数	3,565	
	男	1,665	
	女	1,900	
	うち65歳未満	男 445 女 601	
耕地面積	合計	4,140	
	田	3,490	
	畑	普通畑	417
		樹園地	223
		牧草地	3
作付延べ面積	3,460		
耕地利用率	83.6		

資料:2005年農林業センサス 平成17年2月1日現在

■漁業

(単位:世帯, 人, 隻, 面, a, 経営体)

海面漁業	漁業世帯数	35	
	漁業就業者数	男	36
		女	3
	漁船隻数	無動力船隻数	5
船外機付船隻数		21	
動力船隻数		17	
内水面漁業	養殖池数	71	
	養殖面積	536	
	養殖業従事者数	24	
	営んだ経営体数	14	

資料:2003年漁業センサス 平成15年11月1日現在

■工業

◇産業中分類別統計表(従業者4人以上の事業所)

(単位:人,万円)

区分	事業所数	従業者数	製造品 出荷額等	区分	事業所数	従業者数	製造品 出荷額等
総数	100	5,941	19,512,063				
食料品	22	621	603,405	窯業・土石製品	2	30	×
飲料・たばこ・飼料	5	36	37,042	鉄鋼	11	3,220	15,977,329
衣服・その他の繊維製品	5	175	64,671	金属製品	6	60	54,835
木材・木製品	9	81	55,656	一般機械器具	20	875	1,380,389
家具・装備品	3	17	11,633	電気機械器具	5	260	258,885
パルプ・紙	1	4	×	電子部品・デバイス	1	37	×
印刷・同関連品	3	20	16,098	輸送機械器具	4	370	751,628
プラスチック製品	1	126	×	その他製品	2	9	×

資料:工業統計調査 市町村表第15表 平成18年12月31日現在

■商業

◇産業小分類別統計表

(単位:人,万円,㎡)

区分	事業所数	従業者数	就業者数	年間商品販売額	その他の収入額	売場面積	
総数	620	2,885	3,024	7,571,932	×	47,372	
卸売業	総数	87	629	652	×	×	-
	各種商品卸売業	-	-	-	×	×	-
	繊維・衣服等卸売業	5	24	24	×	×	-
	飲食料品卸売業	28	226	238	×	×	-
	建築材料、鉱物・金属材料等卸売業	17	183	187	×	×	-
	機械器具卸売業	15	112	114	×	×	-
	その他の卸売業	22	84	89	×	×	-
小売業	総数	533	2,256	2,372	×	×	47,372
	各種商品小売業	1	10	10	×	×	-
	織物・衣服・身の回り品小売業	48	108	110	×	×	1,222
	飲食料品小売業	211	927	963	×	×	20,160
	自動車・自転車小売業	45	220	221	×	×	538
	家具・じゅう器・機械器具小売業	63	216	228	×	×	7,984
	その他の小売業	165	775	840	×	×	15,875

資料:商業統計調査 平成16年6月1日現在

◇従業者規模別統計表(卸売業+小売業)

(単位:人)

区分	事業所数	従業者数	就業者数
総数	620	2,285	3,024
2人以下	303	486	536
3~4人	138	469	519
5~9人	112	731	753
10~19人	50	660	676
20~29人	11	261	260
30~49人	3	99	101
50~99人	3	179	179
100人以上	-	-	-

資料:商業統計調査 市町村表第2表 平成16年6月1日現在

◇商業集積地別統計表

(単位:事業所,人)

区分	事業所数	従業者数	就業者数
安来駅前商店街	11	60	65
本町商店街	19	89	89
大市場商店街	33	116	118
八幡町商店街	16	38	38
大塚町商店街	15	47	56
荒島町商店街	24	77	79
神田町商店街	21	159	175

資料:商業統計調査 市町村表第3表 平成16年6月1日現在

財政・市税

安来市は、歳入の多くを地方交付税(37.2%)や国庫支出金(8.4%)に依存している。

■財政（主要指標等）

(単位:百万円, %)

区分		平成 18 年度	平成 19 年度
財政力指数		0.366	0.386
標準財政規模		13,226	13,218
經常収支比率	合計	89.9	88.4
	人件費	32.5	31.3
	物件費	7.6	8.0
	公債費	28.7	29.1
	扶助費	4.3	4.7
	補助費	2.0	2.4
	維持補修費	0.7	0.1
	繰出金	14.0	12.8
公債費比率		24.0	22.8
実質公債費比率(平均)		23.1	25.1
起債制限比率(平均)		16.1	16.7
実質収支比率		2.9	3.3
積立金現在高	合計	3,326	3,088
	財調	1,004	906
	減債	262	191
	その他	2,061	1,991
地方債現在高		37,764	36,883
債務負担行為現在高		2,833	3,787
積立金現在高比率		25.2	23.4
地方債現在高比率		285.5	279.0
債務負担行為現在高比率		21.4	28.7

資料:平成 17 年度地方財政状況調査

■財政（決算収支）

(単位:百万円)

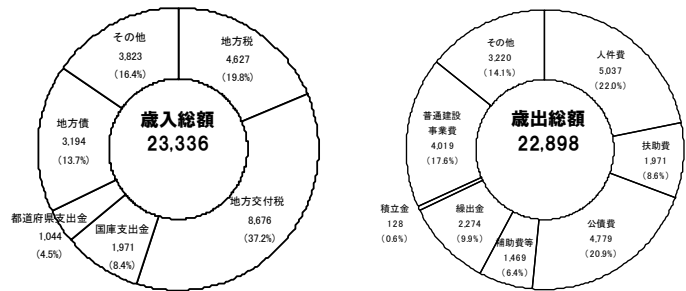
区分	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度
歳入	27,912	24,806	23,336
歳出	27,321	24,365	22,898
形式収支	590	440	438
繰越財源	224	55	3
実質収支	366	386	435
単年度収支	366	19	50
積立金	612	2	2
繰上償還金	5	211	496
積立金取崩額	160	230	100
実質単年度収支	823	2	448

資料:平成 16,17 年度地方財政状況調査

■主な歳入・歳出

(単位:百万円, %)

資料:平成 17 年度地方財政状況調査



■市税の内訳

(単位:千円)

区分		平成 19 年度 決算	平成 20 年度 当初予算
総額		5,104,763	5,126,522
市民税	個人分	1,684,309	1,709,000
	法人分	312,873	339,000
固定資産税		2,751,985	2,729,300
交付金納付金		36,694	34,822
軽自動車税		100,991	102,400
市たばこ税		214,696	209,000
入湯税		3,215	3,000

資料:財政課

■市有財産（土地・建物）の状況

(単位:m²)

区分	平成 19 年度			
	土地	建物		
		延面積	木造	非木造
合計	6,786,310.16	277,010.75	39,807.55	237,203.20
市庁舎	18,181.78	10,131.00	0.00	10,131.00
消防施設	11,032.41	4,224.14	560.70	3,663.44
幼稚園 小中学校	419,396.81	99,415.63	6,477.63	92,938.00
市営住宅	142,874.77	38,392.10	8,816.10	29,576.00
公園	554,696.52	4,686.22	1,410.82	3,275.40
その他の 施設	906,674.86	114,136.66	18,642.30	95,494.36
山林	4,599,996.61	0.00	0.00	0.00
宅地・建物	14,633.83	6,025.00	3,900.00	2,125.00
その他	92,880.57	0.00	0.00	0.00

資料:管財課 平成 20 年 3 月 31 日現在

■自治体ランキング（全国 47 都道府県：806 市区）

◇住みよさ・成長力・民力度

区分	住みよさ						成長力			民力度		
	総合	安心	利便	快適	富裕	住居	総合	消費	産業	総合	消費	産業
順位	550 位	237 位	523 位	655 位	603 位	53 位	523 位	273 位	671 位	363 位	564 位	218 位
偏差値	48.22						94.3			84.6		

◇評価項目

評価項目		データ	順位	評価項目		データ	順位	
面積・人口・世帯	面積	420.97km ²	178	経済力	事業所数(民営)	1,953事業所	591	
	可住地面積	96.27km ²	305		同・増加率	△4.7%	408	
	人口(国調)	43,839人	587		従業者数(民営)	16,669人	545	
	同・増加率	△3.1%	541		同・増加率	△4.8%	327	
	人口(住基)	44,174人	588		製造品出荷額等	1,761億円	346	
	同・増加率	△2.0%	525		同・増加率	35.8%	22	
	人口密度	105人/km ²	687		同・従業者1人当たり出荷額等	3,265.7万円	238	
	自然増加率	△0.34%	532		粗付加価値額	884億円	294	
	社会増加率	△0.67%	621		同・増加率	28.5%	45	
	平均年齢	47.4歳	112		卸売業年間販売額	424億円	-	
	就業人口構成(第1次産業)	14.0%	132		小売業年間販売額	319億円	-	
	就業人口構成(第2次産業)	33.7%	195		同・増加率	△2.6%	401	
	就業人口構成(第3次産業)	52.0%	704		大型店・店舗数	9店	484	
	昼夜間人口比率	96.32%	328		同・店舗面積	24,407m ²	598	
	世帯数(住基)	13,867世帯	637		農業産出額	63.3億円	335	
	同・増加率	1.8%	557		雇用・マンパワー	労働力人口	24,010人	570
少子高齢化	年少人口増加率	△7.9%	378	同・増加率		△4.2%	586	
	年少人口	13.5%	495	労働力率・高齢者		29.3%	69	
	若年層有配偶者率・女	62.4%	284	完全失業率		4.0%	69	
	老年人口増加率	7.6%	626	同・若年層		6.7%	79	
	老年人口比率	28.2%	111	臨時雇用者の割合		15.5%	456	
	同・増加率	2.8ポイント	376	生活基盤・環境		納税義務者1人当たり課税対象所得税	272.5万円	584
	高齢化指数	208.8	146			高額納税者数	11人	520
	同・増加率	30.1ポイント	398			同・1人当たり人口	4,098.9人	255
財政力	歳出決算額	229億円	430			新中間階層の割合	12.0%	682
	同・人口1人当たり	51.8万円	86		労働者階層の割合	50.1%	448	
	公債費負担比率	27.9%	758		自市内従業割合	75.6%	213	
	起債制限比率	16.7%	748		持ち家世帯割合	82.4%	80	
	地方債依存度	13.7%	701		一戸建て住宅に住む世帯の割合	85.6%	140	
	経常収支比率	88.4%	226		1世帯当たり住宅延べ床面積	147.0m ²	43	
	交付税依存度	37.2%	674		住宅地地価(1m ² 当たり)	250百万円	563	
	財政力指数	0.39	651	1世帯当たり乗用車保有台数	1.67台	133		
	地方税増加率	2.0%	489	人口1万人当たり病院・診療所	7.8所	339		
	人口1人当たり地方税収額	10.5万円	528	人口2万人当たりの医師数	15.9人	395		
地方税比率	19.8%	647	公共下水道普及率	38.7%	518			

資料：東洋経済 都市データパック 2008 年度版（平成 2008 年 5 月 26 日までの市町村合併に対応）

注）東洋経済の都市データパック 2008 年度版を抜粋しているため、必ずしも他の数値と同じ値ではない。

選挙

国政選挙における投票率全国第1位は、島根県である。

■選挙人名簿登録者

(単位:人)

区分		平成18年 (2006年)	平成19年 (2007年)	平成20年 (2008年)
有権者数	総数	36,550	36,431	36,210
	男	17,258	17,183	17,046
	女	19,292	19,248	19,164
住民登録人口		44,647	44,256	43,884
人口対比		81.86	82.32	82.51

資料:選挙管理委員会 各年3月2日現在

◇選挙人名簿登録者の内訳

(平成20年/単位:人)

地域別		安来	広瀬	伯太
有権者数	総数	24,491	7,249	4,470
	男	11,560	3,375	2,111
	女	12,931	3,874	2,359
住民登録人口		29,933	8,601	5,350
人口対比		81.82	84.28	83.55

■農業委員会選挙人名簿登録者

(単位:人)

区分		平成17年 (2005年)	平成18年 (2006年)	平成19年 (2007年)
有権者数	総数	10,945	7,239	8,108
	男	5,683	3,814	4,445
	女	5,262	3,425	3,663

資料:選挙管理委員会 各年3月31日現在

◇農業委員会選挙人名簿登録者の内訳

(平成19年/単位:人)

地域別		安来	広瀬	伯太
有権者数	総数	4,757	2,024	1,327
	男	2,537	1,129	779
	女	2,220	895	548

■最近の選挙別投票率

(単位:人,%)

区分			平成16年 (2004年)	平成17年 (2005年)	平成20年 (2008年)
安来市	市長選挙	有権者数	36,540	-	35,737
		投票者数	21,402	-	25,634
		投票率	58.57	-	71.73
	市議会議員選挙	有権者数	-	36,399	35,737
		投票者数	-	30,115	25,620
		投票率	-	82.74	71.69

資料: <http://www.senkyo.janjan.jp/>

安来市市長選挙の投票率は?

(単位:人,%)

投票所名	当日有権者数	投票者数	投票率
総数	35,737	25,634	71.73
安来地域計	24,198	17,359	71.74
十神小学校	2,397	1,750	73.01
安来市役所安来庁舎	1,610	1,230	76.40
社日小学校	1,759	1,308	74.36
城谷保育所	1,980	1,331	67.22
宇賀荘幼稚園	955	683	71.52
安来第二中学校	806	566	70.22
能義幼稚園	976	729	74.69
赤江保育所	2,037	1,532	75.21
切川保育所	1,329	920	69.22
荒島保育所	2,262	1,622	71.71
安来第三中学校	1,383	955	69.05
飯梨小学校	1,459	1,044	71.56
大塚保育所	952	722	75.84
吉田交流センター	457	330	72.21
旧十神幼稚園	2,282	1,560	68.36
島田幼稚園	1,554	1,077	69.31
広瀬地域計	7,141	5,199	72.80
広瀬中央交流センター	1,345	997	74.13
広瀬中央公園総合体育館	505	368	72.87
広瀬保険センター	1,485	1,063	71.58
比田交流センター	815	555	68.10
元東比田小学校体育館	396	261	65.91
西谷生活改善センター	227	179	78.85
奥田原交流センター	225	193	85.78
山佐交流センター	409	333	81.42
下山佐交流センター	516	352	68.22
菅原交流センター	227	160	70.48
布部交流センター	711	524	73.70
元宇波小学校体育館	280	214	76.43
伯太地域計	4,398	3,076	69.94
いきいきの郷はくた	1,308	857	65.52
母里交流センター	1,319	915	69.37
井尻老人憩いの家	566	431	76.15
横屋公民館	391	292	74.68
赤屋交流センター	259	192	74.13
小竹工作所	349	240	68.77
常盤公民館	206	149	72.33

資料:選挙管理委員会 平成20年10月19日執行

防災

いつ起きるか分からない災害等に備え、応急手当普及啓発活動に 3,068 人が参加した。

■避難所開設施設（安来地区）

地区	施設名	電話番号	想定 収容 人数	住所	避難所開設の可否			備考
					水害	地震	災害	
十 神	安来中央交流センター	23-1721	150	安来町 896-1	△	○	○	浸水想定区域内
	安来市民会館	22-3308	120	安来町 1337-1	△	○	○	〃
	第一中学校	22-2250	450	飯島町 792	△	○	○	〃
	十神小学校	22-2010	300	安来町 843-3	△	○	○	〃
	安来幼稚園	22-2129	75	安来町 853	△	○	○	〃
	安来保育所	22-2219	50	安来町 858-6	△	○	○	〃
	十神学供	23-0755	30	安来町 1931-1	△	△	○	浸水想定区域・土砂災害警戒区域内
	和鋼博物館	23-2500	140	安来町 1058-1	×	○	○	浸水想定区域内
	安来市立図書館	22-2574	200	安来町 1058-1	×	○	○	〃
	勤労青少年ホーム	22-4333	30	南十神町 33	△	△	○	〃
	安来球場	-	-	飯島町 744	×	○	○	屋外施設
	安来港公園	-	-	安来町 1830	×	○	○	〃
	みさき親水公園	-	-	亀島町 9-10	×	○	○	〃
社 日	市民体育館	23-1923	350	安来町 1337-1	△	○	○	浸水想定区域内
	社日小学校	22-6345	300	宮内町 101	△	○	○	〃
	社日交流センター	23-2048	30	安来町 1281-1	△	○	○	〃
	鴨来荘	22-2877	150	月坂町 563	○	○	○	施設一部が土砂災害警戒区域内
	安来公園	-	-	安来町 1365	×	○	○	屋外施設
赤 江	東部職業訓練センター	23-1750	80	今津町 532-2	△	○	○	浸水想定区域内
	赤江小学校	28-8009	240	赤江町 1843	○	○	○	
	赤江保育所	28-8634	50	赤江町 1742	○	○	○	
	赤江交流センター	28-8982	30	上坂田町 574	○	○	○	
	西部球場	-	-	上坂田町 280-2.	×	○	○	屋外施設
荒 島	荒島小学校	28-6186	270	荒島町 2728	○	○	○	
	第三中学校	28-8534	240	西赤江町 395	○	○	○	
	荒島交流センター	28-6783	30	荒島町 3353-5	×	×	○	浸水想定区域・土砂災害警戒区域内
	日白公会堂	28-6702	10	日白町	○	○	○	
	久白公会堂	-	10	久白町	△	×	○	施設一部が土砂災害警戒区域内
	古代出雲王陵の丘	-	-	荒島町 1965	×	○	○	屋外施設
	うさぎ山児童公園	-	-	西荒島町 121-2	×	○	○	屋外施設
飯 梨	飯梨小学校	28-6417	200	植田町 398	○	○	○	
	飯梨保育所	28-6447	50	飯梨町 447-2	○	○	○	
	飯梨交流センター	28-8346	50	飯梨町 445-1	○	○	○	
	安来節演芸館	28-9500	200	古川町 534	△	○	○	浸水想定区域内
	夢ランドしらさぎ	28-6300	350	古川町 835	○	○	○	
	ふれあいプラザ	28-6477	150	古川町 848	○	○	○	
能 義	情報科学高等学校	23-2700	300	能義町 310	△	○	○	浸水想定区域内
	能義小学校	22-2854	150	飯生町 265	△	○	○	〃
	能義幼稚園	22-2244	30	飯生町 566-8	○	○	○	
	能義交流センター	23-0764	30	飯生町 566-3	○	○	○	
大 塚	南小学校	22-2807	170	清瀬町 230	△	○	○	浸水想定区域内
	下町集会所	-	10	大塚町	○	○	○	
	大塚保育所	27-0051	30	大塚町 399-1	○	○	○	
	大塚交流センター	27-0328	50	大塚町 400-1	○	○	○	

地区	施設名	電話番号	想定 収容 人数	住所	避難所開設の可否			備考
					水害	地震	災害	
大塚	大塚ふれあいセンター	27-0860	30	大塚町 350	○	○	○	
	殿川内公会堂	-	20	大塚町	○	○	○	
吉田	吉田交流センター	27-0325	80	上吉田町 618-1	○	○	○	
宇賀荘	安来高等学校	22-2840	600	佐久保町 115	△	○	○	浸水想定区域内
	第二中学校	22-2859	160	吉岡町 7	△	○	○	〃
	宇賀荘小学校	22-2364	200	清井町 300	○	○	○	
	宇賀荘幼稚園	22-2118	30	宇賀荘町 323-1	○	○	○	
	宇賀荘交流センター	23-0721	30	宇賀荘町 98-1	○	○	○	
	市中公会堂	-	10	宇賀荘町	○	○	○	
	安来運動公園	22-5911	-	吉岡町 450	×	○	○	屋外施設
島田	島田小学校	22-2531	180	穂日島町 485	○	○	○	
	島田幼稚園	22-5325	30	穂日島町 485	○	○	○	
	島田交流センター	23-2891	30	穂日島町 485	○	○	○	
	吉佐公会堂	22-2434	20	吉佐町	○	○	○	
	門生公会堂	22-3690	20	門生町	○	○	○	
		汐彩公園	-	-	汐手が丘 238 番地	×	○	○

■避難所開設施設（広瀬地区）

地区	施設名	電話番号	想定 収容 人数	住所	避難所開設の可否			備考
					水害	地震	災害	
広瀬	広瀬健康福祉センター	32-2223	120	広瀬町広瀬 1930-1	○	○	○	
	広瀬中央交流センター	32-4138	280	広瀬町広瀬 811	○	○	○	
	町民体育館	32-2678	130	広瀬町広瀬 2548	○	○	○	
	町民会館	32-2214	50	広瀬町広瀬 772-11	○	○	○	
	広瀬小学校	32-2388	120	広瀬町広瀬 751	○	○	○	
	広瀬社会福祉センター	32-3305	100	広瀬町広瀬 754	○	○	○	
	広瀬学園総合福祉専門学校	32-4196	75	広瀬町広瀬 753-15	○	○	○	
	安来商工会館	32-2155	10	広瀬町広瀬 753-40	○	○	○	
	つどいの里ひろせ	32-9006	90	広瀬町広瀬 1911-1	○	○	○	
	広瀬町総合体育館	32-2678	500	広瀬町広瀬 307	○	○	○	
	旧広瀬中学校	-	40	広瀬町広瀬 117	○	○	○	
	広瀬保育所	32-3807	40	広瀬町広瀬 631-1	○	○	○	
	富田山荘	32-2271	210	広瀬町富田 2656	○	○	○	
	広瀬中学校(新)	32-2389	140	広瀬町富田 1470	○	○	○	
	広瀬中央公園	32-2678	-	広瀬町広瀬 307	×	○	○	屋外施設
下山佐	下山佐交流センター	32-3840	50	広瀬町下山佐 498	×	△	○	施設一部が土砂災害警戒区域内
	すばーく広瀬	-	-	広瀬町下山佐 334-1	×	○	○	屋外施設(有線 20-7432)
菅原	菅原交流センター	32-3298	30	広瀬町菅原 604	△	△	○	施設一部が土砂災害警戒区域内
	菅原農産物加工施設	-	30	広瀬町菅原 604	△	△	○	〃
比田	比田小学校	34-0014	100	広瀬町西比田 1659	○	△	○	施設一部が土砂災害警戒区域内
	旧比田中学校	-	270	広瀬町西比田 1636-3	○	○	○	
	比田交流センター	34-0001	30	広瀬町西比田 1708-4	○	○	○	
	勤労者体育センター	34-0623	30	広瀬町西比田 1441-2	○	○	○	
東比田	東比田交流センター	34-0211	30	広瀬町東比田 950-11	○	△	○	施設一部が土砂災害警戒区域内
	旧東比田保育所	34-0533	10	広瀬町東比田 950-1	○	△	○	〃
	湯田山荘	34-0240	30	広瀬町東比田 1373	○	○	○	
布部	布部交流センター	36-0001	60	広瀬町布部 345-40	○	○	○	

地区	施設名	電話番号	想定 収容 人数	住所	避難所開設の可否			備考
					水害	地震	災害	
布部	布部小学校	36-0200	210	広瀬町布部 1152	△	○	○	施設一部が土砂災害警戒区域内
	旧布部中学校	-	100	広瀬町布部 288	△	△	○	"
	旧布部公民館	36-0212	60	広瀬町布部 1668-2	○	○	○	
	布部保育所	36-0227	50	広瀬町布部 233-3	△	○	○	浸水想定区域内
西谷	西谷生活改善センター	36-0242	30	広瀬町西谷 403	○	○	○	
	西谷交流センター	36-0376	90	広瀬町西谷 376-6	○	○	○	
	旧西谷小体育館	-	60	広瀬町西谷 376-6	○	○	○	
宇波	宇波交流センター	36-0852	140	広瀬町宇波 48	○	△	○	施設一部が土砂災害警戒区域内
	旧宇波小体育館	-	50	広瀬町宇波 48	○	△	○	"
山佐	山佐小学校	35-0017	220	広瀬町上山佐 608-2	○	○	○	
	山佐交流センター	35-0129	50	広瀬町上山佐 654-5	○	△	○	施設一部が土砂災害警戒区域内
	旧山佐小学校	-	170	広瀬町上山佐	○	△	○	"
奥田原	旧奥田原小学校	-	75	広瀬町奥田原 479	○	△	○	"
	奥田原交流センター	35-0047	30	広瀬町奥田原 602-1	○	○	○	

■避難所開設施設（伯太地区）

地区	施設名	電話番号	想定 収容 人数	住所	避難所開設の可否			備考
					水害	地震	災害	
安田	いきいきの郷はくた	37-1432	170	伯太町安田 1687	△	○	○	要援護者向け避難所として開設
	コスモス苑	37-1555	100	伯太町安田 1700-2	△	○	○	"
	安田小学校	37-0058	110	伯太町安田 1213-1	△	△	○	施設一部が土砂災害警戒区域内
	安田交流センター	37-0835	30	伯太町安田中 158	△	○	○	浸水想定区域内
	安田老福祉センター	37-0831	20	伯太町安田中 159	△	○	○	"
母里	わかさ会館	37-1558	50	伯太町東母里 572-1	△	○	○	"
	母里老福祉センター	37-0188	30	伯太町東母里 531	△	○	○	"
	伯太中学校	37-1007	130	伯太町西母里 940-6	△	○	○	"
	伯太町民体育館	37-1262	150	伯太町西母里 231-5	△	○	○	"
	母里小学校	37-1099	150	伯太町西母里 1040-1	△	○	○	浸水想定区域内
	はくた文化学習館	37-0050	20	伯太町母里 28	×	○	○	"
	安来商工会伯太支所	37-1154	20	伯太町東母里 434-2	△	○	○	"
井尻	井尻交流センター	37-0836	30	伯太町井尻 77	△	○	○	"
	井尻小学校	37-1032	120	伯太町井尻 859-2	○	△	○	施設一部が土砂災害警戒区域内
赤屋	赤屋交流センター	38-0145	20	伯太町赤屋 118-2	○	○	○	
	赤屋小学校	38-0004	20	伯太町赤屋 123	○	○	○	
	赤屋保育所	38-0210	10	伯太町赤屋 122-1	○	○	○	

■住民に対する応急手当普及啓発活動の状況

(単位:人,回)

区分	平成 17 年 (2005 年)		平成 18 年 (2006 年)		平成 19 年 (2007 年)	
	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数
総数	2,936	78	2,633	47	3,068	84
上級救命講習	-	-	-	-	-	-
普通救命講習	787	39	284	13	368	17
その他の講習	2,149	39	2,349	34	2,700	67

資料:安来市消防本部 消防年報

自治会・町内会

地域活動を通じて、住民相互の交流や親睦を図り住みよい暮らしを築きましょう。

■安来地域

区域	地区	自治会
安来区域	社日地区	宮内町、旭ヶ丘、東社日、社日町、八幡町、神田町、西御幸、東御幸、日立町、加茂町、城谷町、南城谷町、東加茂町第一、東加茂町第二、長谷津町、臼井町及び桜が丘
	十神地区	大橋東、明治町、山中町、大市場、中市場、西小路第一、西小路第二、東小路、姫崎町、新町、西灘町、中町、港町、本町、朝日町、錦町、川尻町、錦ヶ丘、前飯島町、後飯島町第一、咲楽町、後飯島町第二、新飯島町、藤木町、日立寮、日の出町、今村町、緑ヶ丘、東十神町第一、東十神町第二、西十神町、新十神町、南十神町、桂が丘及び南飯島
赤江区域	赤江地区	才下町、宮中川町、豊島町、越前町、出来須町、論田町、住吉町、中島町、上坂田町、西中津町、東中津町、東切川町、内代町、みどり団地、天神原町、下の原町、印部町、山根越町、竹鼻町、井越町、上今津町、江畑今津町、灘今津町、下坂田町、新坂田町、別石町、福井町、宮須町第一、宮須町第二及び福井住宅団地
荒島区域	荒島地区	日白町、西荒島町、大西町、西中町、東中町、新田町、東町、大東町、姥祖父町、西天神町、東天神町、南天神町、西旭町、駅前、旭本町、東旭町、猪子塚町、青葉町、川原町、上荒島町、松崎町、やなぎヶ丘、御崎町、久白町、山根町、南新町、山根町第二、西赤江町、神塚町第一、神塚町第二、神塚町第三及び安養寺団地
飯梨区域	飯梨地区	古川町、植田町、神庭町、岩舟町、飯梨町、東飯梨町、西松井町、田頼町及び津田平町
能義区域	能義地区	矢田町、実松町、能義町、飯生町、利弘町、沢町、赤崎町、月坂町及び月坂町第二
大塚区域	大塚地区	鳥木町、茶屋町、松実町、殿川内町、丸山町、東町、国服町、本町、旭町、秋葉町、中ノ町、下町、末広町及び大柴町
	吉田地区	横手、正福寺、影平、垣飯場、鳴滝、中谷、細井、永源寺、別所及び大光寺
宇賀荘区域	宇賀荘地区	吉岡町、吉岡町第二、野方町、折坂町、柿谷町、清瀬町、清井町、新御堂、真米、市中、九重町、早田町、早田町第二、清水町及び佐久保町
島田区域	島田地区	吉佐町、門生町、島田町、須崎町、細井町、黒島町、和田町、わらび谷団地、和田団地(市)、和田団地(県)、高広、警察官舎、茜ヶ丘及び汐手が丘

■広瀬地域

区域	地区	自治会
広瀬区域	広瀬地区	祖父谷、祖父谷丁、殿町、中ノ丁、目谷、八幡町、新町、上町、志多町、本町、魚町、鍛冶町、新市町、旭町1、旭町2、栄町1、栄町2、上石原、下石原、新宮、塩谷、牧谷、川平及び下田原
	下山佐地区	大谷紙屋谷、板橋、須釜、畑、常願寺、本郷上口、蕪谷、本郷下口、福頼、福頼団地及び須谷
	菅原地区	菅原1区、菅原2区及び柿根
布部区域	布部地区	横手、後ヶ市、飯田、下布部、金原、上り原、根尾川原、本町、中曾根、西の谷、川原上、川原前、樋の廻、平野、乙見及び川路
	宇波地区	水田原、宮下、宮上、滝奥、滝下の上及び滝下の下
	西谷地区	西谷第一、西谷本郷、西谷中谷、木呂畑及び西谷東部
比田区域	比田地区	茅原、黒田、追神、市原、町、殿之奥、古市、庵之上、梶、福留及び駒場
	東比田地区	滝谷、虫木、永田、田中、松本、道城及び前谷
山佐区域	山佐地区	上口、高木、待合、森口、宮内、中口及び下明
	奥田原地区	山口、廻谷、中ノ輪、下ノ輪及び新田

■伯太地域

区域	地区	自治会
赤屋区域	赤屋地区	赤屋下、赤屋上、月坂、見土路、部張、本郷下、本郷中、本郷上、新田谷、奥之谷、久之谷、矢原下、矢原上、久根、永江、共和、仲村、用土、東組、中組、大谷、上ヶ保、下組、オケ原、原田、坂原、宇丹波、草野下、草野谷、六呂坂及び水木原
井尻区域	井尻地区	下町下、下町上、中町、朝日町、後田大平、上町、和子、多田荒堀、与一畑、高江、須山、福富、三坂、天神、寸次、日次、北之前、清水搔、横屋、与市、久才、日山、矢白ヶ市東、矢白ヶ市西及び大郷
母里区域	母里地区	守合、大木、上古市、下古市、オケ峠、豊岡、豊原、原代、井、本町下A、本町下B、本町中、本町上、新町上、新町中、新町下A、新町下B、新町下C、下町、旭町、卯月、招、御笠、西市、城山、教員住宅、新下古市、招団地、御崎団地及びわかさ
安田区域	安田地区	粕原、峠下、関、南側、宮内、未明、中の上、中の中、中の下、横山、土手、清瀬、長田、的場谷、大熊谷、北谷、政、石堂前団地、日の出団地、土井団地、宮中団地、菅根崎団地、日の出東、朝日が丘団地及び安田団地

資料：安来市自治会長設置規則 平成20年3月31日現在

その他

「行政のための統計」から「社会情報基盤としての統計」へ

■安来市で行う指定統計調査

統計調査名	調査の目的	調査の対象	周期	実施予定時期	調査の主管
住宅・土地統計調査	住宅及び世帯の居住状況の実態を把握し、また、土地に関する利用状況を調査して、全国及び地域別の住宅及び土地に関する基礎資料を得る。	総務大臣が指定する住宅等並びにそこに居住する世帯	5年	平成20年10月	総務省
漁業センサス	水産業の実態を明らかにして、行政の基礎資料を得る。	漁業者や水産関係者	5年	平成20年11月	農林水産省
工業統計調査	工業活動の実態を明らかにして、行政の基礎資料を得る。	製造業に属する事業所全数	毎年	平成20年12月	経済産業省
全国消費実態調査	家計の収支及び住宅・宅地、貯蓄・負債、耐久消費財等の家計の資産を総合的に調査し、我が国の世帯の消費、所得、資産の水準、構造及び分布を明らかにする。	総務大臣が指定する世帯員2人以上の一般世帯及び単身世帯	5年	平成21年9～11月	総務省
経済センサス	事業所及び企業の活動の状態明らかにし、産業や従業者規模等の基本的構造を明らかにする。	事業所及び企業全数	未定	平成21年7月	総務省 経済産業省
農林業センサス	農林業における生産・就業等に関する基礎構造の現状と動向を明らかにし、農林業政策の推進に必要な基礎資料を整備する。	農家及び農家以外の農業事業体並びに林家及び林家以外の林業事業体の全数	5年	平成22年2月	農林水産省
国勢調査	国内の人口状況を把握し、各種行政施策その他の基礎資料とする。	居住する世帯全数	5年	平成22年10月	総務省
就業構造基本調査	国民の就業実態の基本的な構造を明らかにする。	総務大臣が指定する世帯とその世帯に常住する15歳以上の者	5年	平成24年10月	総務省
全国物価統計調査	消費生活において支出の対象となる商品の小売物価等の実態を明らかにする。	総務大臣が指定する事業所	5年	平成24年11月	総務省

指定統計調査・・・国や地方公共団体が作成する統計で重要な意義をもつ基本的な統計であって、総務大臣が指定した統計調査。平成20年3月31日現在注)統計法が全面的に改正されます。(平成19年5月23日公布、全面施行は平成21年4月1日です。)
島根県統計情報 <http://www.toukeika.pref.shimane.jp/toukei/st0/st0100.asp>

■安来市役所庁舎案内

安来庁舎 〒692-8686 安来市安来町 878 番地 2
 広瀬庁舎 〒692-0404 安来市広瀬町広瀬 703 番地
 伯太庁舎 〒692-0207 安来市伯太町東母里 580 番地

☎0854-23-3000
 ☎0854-23-3200
 ☎0854-23-3300

